

和泊中学校校舎改修工事

図面リスト

建築図面	
図面番号	種別
A-00	表紙、図面リスト
-01	建築改修工事特記仕様書（その1）
-02	建築改修工事特記仕様書（その2）
-03	建築改修工事特記仕様書（その3）
-04	建築改修工事特記仕様書（その4）
-05	建築改修工事特記仕様書（その5）
-06	付近見取図・配置図・設計概要
-07	外部仕上表・参考数量表
-08	既存1階平面図
-09	既存2階平面図
-10	既存屋根伏図
-11	改修後1階平面図
-12	改修後2階平面図
-13	改修後屋根伏図
-14	既存外部天井伏図
-15	改修後外部天井伏図
-16	既存立面図1
-17	既存立面図2
-18	改修後立面図1
-19	改修後立面図2
-20	既存矩計図
-21	改修後矩計図
-22	外部建具配置図1階
-23	外部建具配置図2階
-24	外部建具寸法表1
-25	外部建具寸法表2
-26	外壁改修仕様書
-27	外壁等調査図（立面図1）
-28	外壁等調査図（立面図2）
-29	外壁等調査図（接觸図）

建築改修工事特記仕様書

章	項目	特記事項	① 一般共通事項 続き	
1. 共通仕様	※適用を受ける関係法令等を遵守すること (参考)建築工事標準規範(国土交通省大臣官房官房常務部監修の「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)」(令和4年版)以下、「改修工事」という。)により、改修工事に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官房常務部監修の「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)」(令和4年版)以下、「標準仕様」という。による。	完成図※作成する(完成図の種類※全ての設計図 完成図の様式等) A3版の二つ折り製作※3部・()部 A1二つ折り製作※1部・()部 完成図のCADデータCD-R※3枚・()枚 ・作成しない 保全に関する資料・作成する(提出部数※1部・()部) ※作成しない	② 既存部分の養生 既存部分の養生◎行う・行わない 養生方法※ビニルシート、合板等による・() 既存部分の特別養生・行う 設置範囲及び養生方法※図示・() 既存家具等の養生※ビニルシート、合板等による・()	② 既存部分の養生◎行う・行わない 既存部分の特別養生・行う 設置範団及び養生方法※図示・() 既存家具等の養生※ビニルシート、合板等による・()
2. 改修構造及び構造のうち必要とし得る事項と、その他必要として特記する事項を特記事項とする。				
3. 特記仕様	(1)項目は番号に○印の付いたものを適用する。 (2)特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。 (3)特記事項に記載の〔 〕内表示番号は、改修標榜の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (4)特記事項に記載の〔 〕内表示番号は、構造の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (5)印は「国等による環境物品等の調査の権限に関する法律」(以下「グリーン購入法」という)の特定調達品目を示す。 グリーン購入法による調達推進品目は「鹿児島県環境物品等競争方針」の環境物品等競争推進品目一覧表及び別表1(鹿児島県のホームページからダウンロード可能)による。			
4. 前払金	契約金額(全体又は年度毎の出来高予定額)の10分の4を超えない範囲内に限り前払金の支払を請求することができます。			
5. 中間前払又は部分払の選択	契約金額100万円以上以上の工事にあっては、契約に当たる中間前払又は部分払を選択することができる。			
6. 中間前払金	契約金額(全体又は年度毎の出来高予定額)の10分の2を超えない範囲内に限り2の全ての要件を満たす場合に中間前払金の支払を請求することができます。			
7. 中間前払の要件	(1)工期の2分の1を経過していること。 (2)工程表により工期の2分の1を経過するまでに実施すべきものとされている当該工事に係る作業が行われていること。 (3)既に行われた当該工事に係る作業に要する経費が請負金額の2分の1以上の額に相当するものであること。			
8. 部分払	前払金を支払ったものについて工事中2回まで、前払金の支払がされていないものは工事中3回までとする。			
9. 火災保険	契約締結後速やかに火災保険に加入し、保険期間は工期後21日とする。			
10. 工事用資材の優先使用	(1)工事に使用する資材については、県内で産出、生産または製造されたもの(以下「県産資材」という)の優先使用に努めることとし、さらに、県産資材以外の資材等についても、県内に本店を置く資材業者等から譲渡するよう努めることとする。 (2)以下に記載する「指定主要資材」の県産資材を使用しない場合は、「県産資材等不使用状況報告書」を監督職員に提出し、承認を得なければならない。 指収主要資材(昌)目録コクレーニ次見昌木材類アフル合材木材樹木芝			
11. 下請工事における監督職員の優先活用	(3)前項の「県産資材等不使用状況報告書」において、第1項の資材業者等から譲渡しない場合は、その理由を記載すること。 (4)工事完成時及び監督職員から指示された場合、「建設資材使用実績報告書」を監督職員に提出すること。			
12. 下請工事における監督職員の優先活用	(1)工事の一部を下請に付する場合は(曾於市)管内に主たる営業所を有する者を使用するよう努めることとする。 (2)前項で定めた建設業者を活用しない場合は、施工計画書等の提出と併せて「下請工事における管内建設業者等不活用状況報告書」を監督職員に提出すること。 (3)工事完成時及び監督職員から指示された場合、「下請業者使用実績報告書」を監督職員に提出すること。			
13. 設備技術者の途中交代	(1)技術者の途中交代が認められる場合としては、主任技術者又は監理技術者の死亡、傷病、または退職者等、真にやむを得ない場合のほか、下記に該当する場合である。 ①受注者の責によらない理由により工事中止または工事内容の大幅な変更が発生し、工事が延長された場合。 ②工事請負を含む工事であって、工事から現地へ工事の現場が移行する時点。 ③大規模な工事への契約期間が多年に及ぶ場合。 (2)上記(1)のいずれの場合であっても、請負者と発注者が協議し、工事の継続性、品質確保等に支障がないと認められる場合のみ途中交代が可能となる。			
14. 施設設備	本工事におけるCADC面データの貸与を希望する場合は、「CADC面データ借用に係る誓約書」を市に提出すること。なお貸与したCADC面データは、本工事の実行に必要な施工図及び完成図の作成においてのみ使用することとし、それ以外の目的で使用してはならない。また、当該CADC面データは、完成図提出までに、請負者において履行期限期間中に複数又は再配布してしまる全て消去すること。その他の、契約書の取扱事項を遵守すること。			
15. 暴力団関係者による不当介入を受けた場合の措置	和泊町が発行する「建設工事等」という。において、暴力団関係者による不当要求又は工事妨害(以下「不当介入」という。)を受けた場合に、断固としてこれを拒否とともに、その旨を連絡なく町(発注者)及び警察に通報すること。 町工事等において、暴力団関係者による不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じた場合は、町(発注者)と協議を行うこと。			
16. ダンプトラック等による過積載等の防止について	6ダンプトラック等による過積載等の防止について。 (1)工事用資材の過積載等の防止について。 (2)過積載等を行っている相手又は資材納入業者等の利益を不正に害することないようすること。 (3)資材等の過積載等を防ぐため、資材の運搬等に当たっては、資材納入業者等の利益を不正に害することないようすること。 (4)さじの装着又は物品積載装置の不正改造をしたダンプカーが、工事現場に出入りすることがないようすること。 (5)土砂を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別な契約(以下法など)により工程に遅れが生じた等の被害が生じた場合は、町(発注者)と協議を行うこと。			
17. 施工体系図の作成等について	本工事の実行者は、工事の実行に必要な施工図及び完成図の作成においてのみ使用することとし、それ以外の目的で使用してはならない。また、当該CADC面データは、完成図提出までに、請負者において履行期限期間中に複数又は再配布してしまる全て消去すること。その他の、契約書の取扱事項を遵守すること。			
18. 施工体系図の作成等について	本工事の実行者は、工事を施工するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に際しダンプトラック等によって悪影響かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。 (7)①から⑥のことにつき、下請契約における受注者を指導すること。			
19. 施工体系図の作成等について	本工事の実行者は、工事を施工するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に際しダンプトラック等によって悪影響かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。			
20. 施工体系図の作成等について	本工事の実行者は、工事を施工するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に際しダンプトラック等によって悪影響かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。			
21. 施工体系図の作成等について	本工事の実行者は、工事を施工するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に際しダンプトラック等によって悪影響かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。			
22. 施工体系図の作成等について	本工事の実行者は、工事を施工するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に際しダンプトラック等によって悪影響かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。			
23. 施工体系図の作成等について	本工事の実行者は、工事を施工するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に際しダンプトラック等によって悪影響かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。			
24. 施工体系図の作成等について	本工事の実行者は、工事を施工するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に際しダンプトラック等によって悪影響かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。			
25. 施工体系図の作成等について	本工事の実行者は、工事を施工するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に際しダンプトラック等によって悪影響かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。			
26. 施工体系図の作成等について	本工事の実行者は、工事を施工するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に際しダンプトラック等によって悪影響かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。			
27. 施工体系図の作成等について	本工事の実行者は、工事を施工するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に際しダンプトラック等によって悪影響かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。			
28. 施工体系図の作成等について	本工事の実行者は、工事を施工するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に際しダンプトラック等によって悪影響かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。			
29. 施工体系図の作成等について	本工事の実行者は、工事を施工するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に際しダンプトラック等によって悪影響かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。			
30. 施工体系図の作成等について	本工事の実行者は、工事を施工するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に際しダンプトラック等によって悪影響かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。			
31. 施工体系図の作成等について	本工事の実行者は、工事を施工するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に際しダンプトラック等によって悪影響かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。			
32. 施工体系図の作成等について	本工事の実行者は、工事を施工するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に際しダンプトラック等によって悪影響かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。			
33. 施工体系図の作成等について	本工事の実行者は、工事を施工するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に際しダンプトラック等によって悪影響かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。			
34. 施工体系図の作成等について	本工事の実行者は、工事を施工するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に際しダンプトラック等によって悪影響かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。			
35. 施工体系図の作成等について	本工事の実行者は、工事を施工するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に際しダンプトラック等によって悪影響かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。			
36. 施工体系図の作成等について	本工事の実行者は、工事を施工するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に際しダンプトラック等によって悪影響かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。			
37. 施工体系図の作成等について	本工事の実行者は、工事を施工するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に際しダンプトラック等によって悪影響かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。			
38. 施工体系図の作成等について	本工事の実行者は、工事を施工するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に際しダンプトラック等によって悪影響かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。			
39. 施工体系図の作成等について	本工事の実行者は、工事を施工するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に際しダンプトラック等によって悪影響かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。			
40. 施工体系図の作成等について	本工事の実行者は、工事を施工するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に際しダンプトラック等によって悪影響かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。			
41. 施工体系図の作成等について	本工事の実行者は、工事を施工するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に際しダンプトラック等によって悪影響かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。			
42. 施工体系図の作成等について	本工事の実行者は、工事を施工するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に際しダンプトラック等によって悪影響かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。			
43. 施工体系図の作成等について	本工事の実行者は、工事を施工するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に際しダンプトラック等によって悪影響かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。			
44. 施工体系図の作成等について	本工事の実行者は、工事を施工するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に際しダンプトラック等によって悪影響かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。			
45. 施工体系図の作成等について	本工事の実行者は、工事を施工するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に際しダンプトラック等によって悪影響かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。			
46. 施工体系図の作成等について	本工事の実行者は、工事を施工するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に際しダンプトラック等によって悪影響かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。			
47. 施工体系図の作成等について	本工事の実行者は、工事を施工するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に際しダンプトラック等によって悪影響かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。			
48. 施工体系図の作成等について	本工事の実行者は、工事を施工するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に際しダンプトラック等によって悪影響かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。			
49. 施工体系図の作成等について	本工事の実行者は、工事を施工するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に際しダンプトラック等によって悪影響かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。			
50. 施工体系図の作成等について	本工事の実行者は、工事を施工するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に際しダンプトラック等によって悪影響かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。			
51. 施工体系図の作成等について	本工事の実行者は、工事を施工するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に際しダンプトラック等によって悪影響かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。			
52. 施工体系図の作成等について	本工事の実行者は、工事を施工するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に際しダンプトラック等によって悪影響かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。			
53. 施工体系図の作成等について	本工事の実行者は、工事を施工するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に際しダンプトラック等によって悪影響かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。			
54. 施工体系図の作成等について	本工事の実行者は、工事を施工するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に際しダンプトラック等によって悪影響かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。			
55. 施工体系図の作成等について	本工事の実行者は、工事を施工するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に際しダンプトラック等によって悪影響かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。			
56. 施工体系図の作成等について	本工事の実行者は、工事を施工するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に際しダンプトラック等によって悪影響かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。			
57. 施工体系図の作成等について	本工事の実行者は、工事を施工するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に際しダンプトラック等によって悪影響かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。			
58. 施工体系図の作成等について	本工事の実行者は、工事を施工するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に際しダンプトラック等によって悪影響かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。			
59. 施工体系図の作成等について	本工事の実行者は、工事を施工するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に際しダンプトラック等によって悪影響かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。			
60. 施工体系図の作成等について	本工事の実行者は、工事を施工するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に際しダンプトラック等によって悪影響かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。			
61. 施工体系図の作成等について	本工事の実行者は、工事を施工するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に際しダンプトラック等によって悪影響かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。			
62. 施工体系図の作成等について	本工事の実行者は、工事を施工するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に際しダンプトラック等によって悪影響かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。			
63. 施工体系図の作成等について	本工事の実行者は、工事を施工するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に際しダンプトラック等によって悪影響かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。			
64. 施工体系図の作成等について	本工事の実行者は、工事を施工するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に際しダンプトラック等によって悪影響かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。			
65. 施工体系図の作成等について	本工事の実行者は、工事を施工するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に際しダンプトラック等によって悪影響かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。			
66. 施工体系図の作成等について	本工事の実行者は、工事を施工するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に際しダンプトラック等によって悪影響かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。			
67. 施工体系図の作成等について	本工事の実行者は、工事を施工するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に際しダンプトラック等によって悪影響かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。			
68. 施工体				

③ 防水改修工事 (統合)

屋根露出防水
高日射反射率防水の適用 [G] • 有 ※無

防水層の種別

工法	種別	施工箇所	断熱材 [G]	仕上塗料	備考
				種類	使用量
・M 4 C	・C-1			※製造所の指定による	※製造所の指定による
・M 4 D	・D-1			※製造所の指定による	※製造所の指定による
・P O D	・D-2			※製造所の指定による	※製造所の指定による
	・D-3				脱気装置 ・設ける、設けない
	・D-4				脱気装置 ・設ける、設けない
・P O D I	・DI-1	[材質] ※JIS A 9531による絶縁材カット 断熱材2種1厚さは2号で選定 又はJIS A 9511による種別選択 厚さは保温材の保温2種1厚さ は2号で選定 規格に適合するもの (厚さ) ≈25mm		※製造所の指定による	※製造所の指定による
・M 3 D I	※DI-2			※製造所の指定による	※製造所の指定による
・M 4 D I	※DI-2			※製造所の指定による	※製造所の指定による

既存装置の種類及び設置数量
※アスファルトルーフィング類製造所の指定による
脱気装置の種類：・設置数量：m/個
屋根露出断熱工法の場合の、ルーフドレン回り及び上部周辺の断熱材の張りじまい位置
※図示
屋内防水
工法 種別 施工箇所 備考
・P 1 E • E-1 保証層・設ける
・P 2 E • E-2 保証層・設ける
押え金物の材質及び形状
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
屋根排水溝 ※図示

6 改善アスファルトシート防水

高日射反射率防水の適用 [G] • 有 ※無

防水層の種別

工法	種別	施工箇所	断熱材 [G]	仕上塗料	備考
				種類	使用量
・M4AS	・AS-T1			※製造所の指定による	
	・AS-T2			※製造所の指定による	
	・AS-J2			※製造所の指定による	
・M3AS	・AS-T3			※製造所の指定による	脱気装置 ・設ける、設けない 改修用ドレン ・設ける、設けない
	・AS-T4			※製造所の指定による	
	・AS-J1			※製造所の指定による	
・P0AS	・AS-T3			※製造所の指定による	脱気装置 ・設ける、設けない 改修用ドレン ・設ける、設けない
	・AS-T4			※製造所の指定による	
	・AS-J1			※製造所の指定による	
	・AS-J3			※製造所の指定による	
・M4ASI	・AS1-T1	[材質] ※JIS A 9531による絶縁材カット 断熱材2種1厚さは2号で選定 又はJIS A 9511による種別選択 厚さは保温材の保温2種1厚さ は2号で選定 規格に適合するもの (厚さ) ≈25mm		※製造所の指定による	
・M4ASI	・AS1-J1			※製造所の指定による	
・P0ASI				※製造所の指定による	

改修アスファルトシートの種類及び厚さ
※改修標仕表3.4.3.1による
粘着層付改修アスファルトシートの種類及び厚さ
※改修標仕表3.4.1から表3.4.3.1による
部分粘着層付改修アスファルトシートの種類及び厚さ
※改修標仕表3.4.1から表3.4.3.1による
脱気装置の種類及び設置数量
※改修アスファルトシートの製造所の指定による
脱気装置の種類：・設置数量：m/個
押え金物
※改修アスファルトシート製造所の仕様による

7 合成高分子系ルーフィングシート防水

高日射反射率防水の適用 [G] • 有 ※無

防水層の種別

工法	種別	施工箇所	断熱材 [G]	仕上材料	備考
				種類	使用量
・P0S	・S-F1			※製造所の指定による	脱気装置 ・設ける、設けない 改修用ドレン ・設ける、設けない
S4S	・S-F2			※製造所の指定による	
	・S-M1			※製造所の指定による	
	・S-M2			※製造所の指定による	
	・S-M3			※製造所の指定による	
・S3S	・S-F1			※製造所の指定による	脱気装置 ・設ける、設けない
	・S-F2			※製造所の指定による	
・M4S	・S-M1			※製造所の指定による	脱気装置 ・設ける、設けない
	・S-M2			※製造所の指定による	
	・S-M3			※製造所の指定による	
・P0S1	・SI-F1	[材質] ※改修標仕3.5.2(c) (3)(II)による (厚さ) ≈25mm		※製造所の指定による	脱気装置 ・設ける、設けない 改修用ドレン ・設ける、設けない
・S3S1	・SI-F2			※製造所の指定による	
・S4S1				※改修標仕3.5.2(c) (3)(I)による (厚さ) ≈25mm	
	・SI-M1			※改修標仕3.5.2(c) (3)(I)による (厚さ) ≈25mm	

既存装置の種類及び設置数量
※改修標仕表3.4.3.1による
粘着層付改修アスファルトシートの種類及び厚さ
※改修標仕表3.4.1から表3.4.3.1による
部分粘着層付改修アスファルトシートの種類及び厚さ
※改修標仕表3.4.1から表3.4.3.1による
脱気装置の種類及び設置数量
※改修アスファルトシートの製造所の指定による
脱気装置の種類：・設置数量：m/個
押え金物
※改修アスファルトシート製造所の仕様による

④ 防水改修工事 (続き)

屋内防水

種別	施工箇所	保 護 層
		平場のモルタル塗り ・床塗り工法 下地モルタル塗り
		立上部の保護 モルタル塗り厚さ
・S-C 1		※改修標仕6.15.6 (b)(2)及び(3)に準ずる (d)(1)に準ずる
		※改修標仕6.15.6 (d)(1)に準ずる
		※7mm以下

屋内防水で平場を保護コンクリート仕上げとする場合の厚さ

ルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標仕表3.5.1から表3.5.3による
絶縁用シートの材質 ※免震ポリエチレンシート
固定金具の品質及び寸法形状
※厚さ4mm以上で防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板及びそれらの片面又は両面に
脱気装置の種類及び設置数量 ※ルーフィングシート製造所の指定による
脱気装置の種類：・設置個数：m/個
既存防水下地がPCコンクリート部材及びALCパネル下地で種別S-C1の場合の目地処理
行う（・図示）・行わない
PCコンクリート部材の入隅部の増張り（種別S-F1, SI-F1, S-C1の場合）
行う（・図示）・行わない
ALCパネル下地の入隅部の増張り（種別S-C1の場合）
行う（・図示）・行わない

8 塗膜防水

高日射反射率防水の適用 [G] • 有 ※無

工法	種別	施工箇所	仕上塗料	備 考
			種類	使用量
・P 1 E	• E-1		保証層	・設ける、設けない
• P 2 E	• E-2			

押え金物の材質及び形状
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
屋根排水溝 ※図示

9 シーリング

高日射反射率防水の適用 [G] • 有 ※無

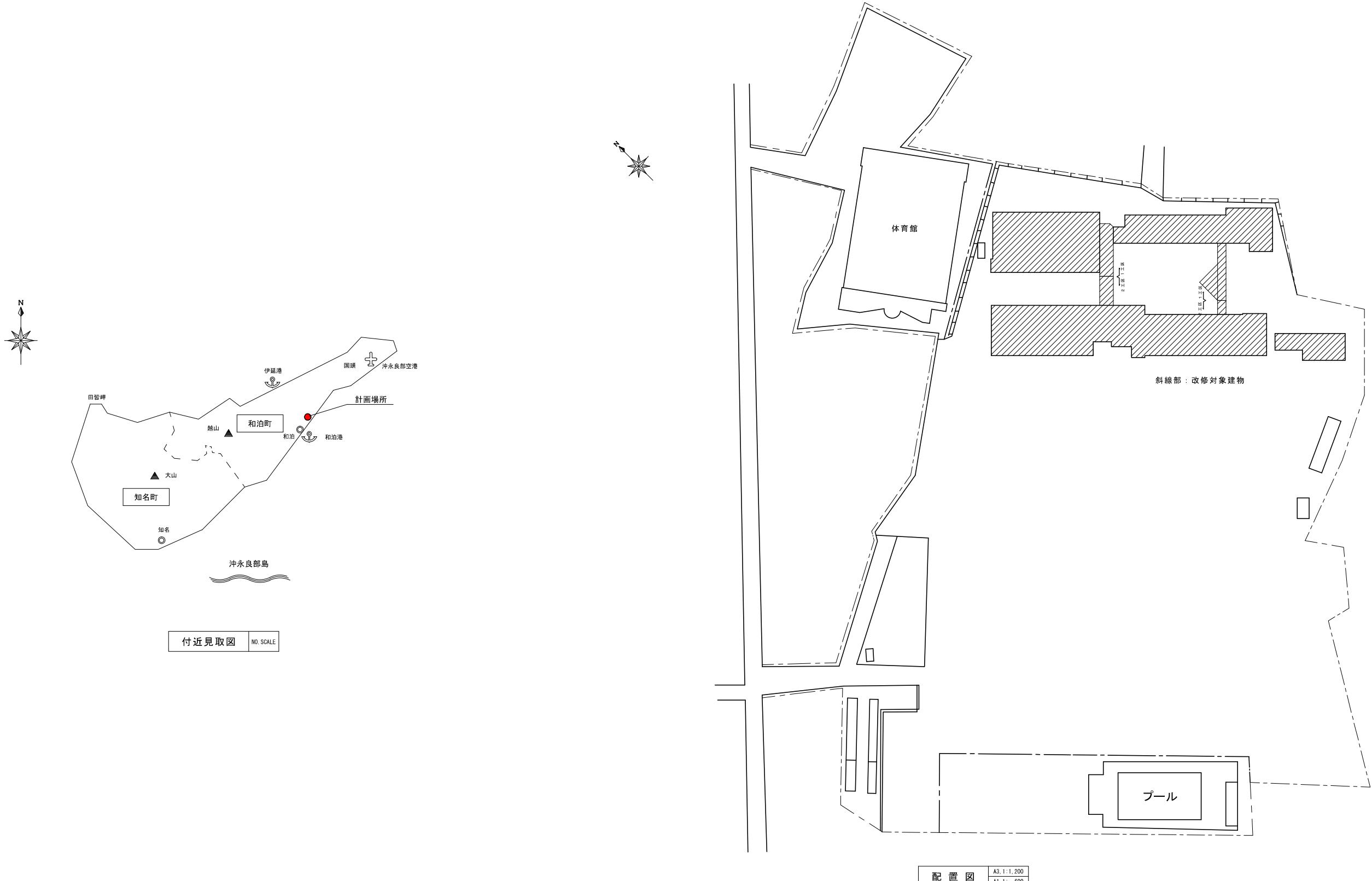
防水層の種別

工法	種別	施工箇所	断熱材 [G]	仕上塗料	備 考
				種類	使用量
・S-C 1				※製造所の指定による	
・S-C 2				※製造所の指定による	
・S-C 3				※製造所の指定による	
・S-C 4				※製造所の指定による	
・S-C 5				※製造所の指定による	
・S-C 6				※製造所の指定による	
・S-C 7				※製造所の指定による	
・S-C 8				※製造所の指定による	
・S-C 9				※製造所の指定による	
・S-C 10				※製造所の指定による	
・S-C 11				※製造所の指定による	
・S-C 12				※製造所の指定による	
・S-C 13				※製造所の指定による	
・S-C 14				※製造所の指定による	
・S-C 15				※製造所の指定による	
・S-C 16				※製造所の指定による	
・S-C 17				※製造所の指定による	
・S-C 18				※製造所の指定による	
・S-C 19				※製造所の指定による	
・S-C 20				※製造所の指定による	
・S-C 21				※製造所の指定による	
・S-C 22				※製造所の指定による	
・S-C 23				※製造所の指定による	
・S-C 24				※製造所の指定による	
・S-C 25				※製造所の指定による	
・S-C 26				※製造所の指定による	
・S-C 27				※製造所の指定による	
・S-C 28				※製造所の指定による	
・S-C 29				※製造所の指定による	
・S-C 30				※製造所の指定による	
・S-C 31				※製造所の指定による	
・S-C 32				※製造所の指定による	
・S-C 33				※製造所の指定による	
・S-C 34				※製造所の指定による	
・S-C 35				※製造所の指定による	
・S-C 36				※製造所の指定による	
・S-C 37				※製造所の指定による	
・S-C 38				※製造所の指定による	
・S-C 39				※製造所の指定による	
・S-C 40				※製造所の指定による	
・S-C 41				※製造所の指定による	
・S-C 42				※製造所の指定による	
・S-C 43				※製造所の指定による	
・S-C 44				※製造所の指定による	
・S-C 45				※製造所の指定による	
・S-C 46				※製造所の指定による	
・S-C 47				※製造所の指定による	
・S-C 48				※製造所の指定による	
・S-C 49				※製造所の指定による	
・S-C 50				※製造所の指定による	
・S-C 51				※製造所の指定による	
・S-C 52				※製造所の指定による	
・S-C 53				※製造所の指定による	
・S-C 54				※製造所の指定による	
・S-C 55				※製造所の指定による	
・S-C 56				※製造所の指定による	
・S-C 57				※製造所の指定による	
・S-C 58				※製造所の指定による	
・S-C 59				※製造所の指定による	
・S-C 60				※製造所の指定による	
・S-C 61				※製造所の指定による	
・S-C 62				※製造所の指定による	
・S-C 63				※製造所の指定による	
・S-C 64				※製造所の指定による	
・S-C 65				※製造所の指定による	
・S-C 66				※製造所の指定による	
・S-C 67				※製造所の指定による	
・S-C 68				※製造所の指定による	
・S-C 69				※製造所の指定による	
・S-C 70				※製造所の指定による	
・S-C 71				※製造所の指定による	
・S-C 72				※製造所の指定による	
・S-C 73				※製造所の指定による	
・S-C 74				※製造所の指定による	
・S-C 75				※製造所の指定による	
・S-C 76				※製造所の指定による	
・S-C 77				※製造所の指定による	
・S-C 78				※製造所の指定による	
・S-C 79				※製造所の指定による	
・S-C 80				※製造所の指定による	
・S-C 81				※製造所の指定による	
・S-C 82				※製造所の指定による	
・S-C 83				※製造所の指定による	
・S-C 84				※製造所の指定による	
・S-C 85				※製造所の指定による	
・S-C 86				※製造所の指定による	
・S-C 87				※製造所の指定による	
・S-C 88				※製造所の指定による	
・S-C 89				※製造所の指定による	
・S-C 90				※製造所の指定による	
・S-C 91				※製造所の指定による	
・S-C 92				※製造所の指定による	
・S-C 93				※製造所の指定による	
・S-C 94				※製造所の指定による	
・S-C 95</					

5 建 具 改 修 工 事 (続)	16 ガラス	[3.7] [5.13.2~4] [表5.13.1] <table border="1"> <tr><td colspan="3">・熱線吸収ガラス</td></tr> <tr><td>品種</td><td>性能</td><td>色調</td></tr> <tr><td>・熱線吸収フロート板ガラス</td><td>・1種</td><td>・ブルー</td></tr> <tr><td>・熱線吸収入磨きガラス</td><td>・2種</td><td>・グレー</td></tr> <tr><td>・プロンズ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td colspan="3">・複層ガラス</td></tr> <tr><td>品種</td><td>断熱性</td><td>日射熱遮へい性</td></tr> <tr><td>・断熱複層ガラス</td><td>・1種</td><td>U-1</td></tr> <tr><td></td><td>・2種</td><td>U-2</td></tr> <tr><td></td><td>・3種</td><td>U-3-1</td></tr> <tr><td></td><td>・U-3-2</td><td></td></tr> <tr><td colspan="3">・日射熱遮へい複層ガラス</td></tr> <tr><td>・4種</td><td>E4</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>・5種</td><td>E5</td></tr> <tr><td colspan="3">・熱線反射ガラス</td></tr> <tr><td>品種</td><td>日射熱遮へい性</td><td>耐久性</td></tr> <tr><td>・熱線反射ガラス</td><td>・1種</td><td>A種</td></tr> <tr><td>色調 (・ブルー・グレー)</td><td>・2種</td><td>A種</td></tr> <tr><td>・B種</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・高機能熱線反射ガラス</td><td>・3種</td><td>B種</td></tr> <tr><td>色調 (・プロンズ・シルバー)</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>反射被膜面</td><td>内面</td><td>外面</td></tr> <tr><td>映像調整</td><td>・行わない</td><td>・行う</td></tr> <tr><td>・耐熱強化ガラス</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>材料板ガラスの種類</td><td>厚さ (mm)</td><td>色調</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>・グリーン</td></tr> <tr><td>・グレー</td><td></td><td>・ブルー</td></tr> <tr><td>・プロンズ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・()</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・倍強度ガラス</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>材料板ガラスによる種類の名称</td><td></td><td>色調</td></tr> <tr><td>・フロート倍強度ガラス</td><td></td><td>—</td></tr> <tr><td>・熱線吸収倍強度ガラス</td><td></td><td>・ブルー</td></tr> <tr><td>・グレー</td><td></td><td>・プロンズ</td></tr> <tr><td colspan="3">ガラスの留め具及び溝の大きさ</td></tr> <tr><td>建具の種類</td><td>ガラス留め材</td><td>ガラス溝の大きさ (mm)</td></tr> <tr><td>アルミニウム製</td><td>※シーリング材 (SR-1)</td><td>※改修仕表5.13.1による</td></tr> <tr><td></td><td>・ガスケット</td><td>・図示</td></tr> <tr><td></td><td>・グレイジングチャンネル形</td><td></td></tr> <tr><td>鋼製及び銅製軽量</td><td>※シーリング材 (SR-1)</td><td>※改修仕表5.13.1による</td></tr> <tr><td></td><td>・図示</td><td></td></tr> <tr><td>ステンレス製</td><td>※シーリング材 (SR-1)</td><td>※改修仕表5.13.1による</td></tr> <tr><td></td><td>・図示</td><td></td></tr> <tr><td>17 錠箱</td><td>形式</td><td>・30本入 () 個</td><td>・60本入 () 個</td><td>・120本入 () 個</td><td>・本入 () 個</td></tr> <tr><td></td><td>鋼製品販品とし、監督職員の承諾による</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	・熱線吸収ガラス			品種	性能	色調	・熱線吸収フロート板ガラス	・1種	・ブルー	・熱線吸収入磨きガラス	・2種	・グレー	・プロンズ			・複層ガラス			品種	断熱性	日射熱遮へい性	・断熱複層ガラス	・1種	U-1		・2種	U-2		・3種	U-3-1		・U-3-2		・日射熱遮へい複層ガラス			・4種	E4			・5種	E5	・熱線反射ガラス			品種	日射熱遮へい性	耐久性	・熱線反射ガラス	・1種	A種	色調 (・ブルー・グレー)	・2種	A種	・B種			・高機能熱線反射ガラス	・3種	B種	色調 (・プロンズ・シルバー)			反射被膜面	内面	外面	映像調整	・行わない	・行う	・耐熱強化ガラス			材料板ガラスの種類	厚さ (mm)	色調			・グリーン	・グレー		・ブルー	・プロンズ			・()			・倍強度ガラス			材料板ガラスによる種類の名称		色調	・フロート倍強度ガラス		—	・熱線吸収倍強度ガラス		・ブルー	・グレー		・プロンズ	ガラスの留め具及び溝の大きさ			建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm)	アルミニウム製	※シーリング材 (SR-1)	※改修仕表5.13.1による		・ガスケット	・図示		・グレイジングチャンネル形		鋼製及び銅製軽量	※シーリング材 (SR-1)	※改修仕表5.13.1による		・図示		ステンレス製	※シーリング材 (SR-1)	※改修仕表5.13.1による		・図示		17 錠箱	形式	・30本入 () 個	・60本入 () 個	・120本入 () 個	・本入 () 個		鋼製品販品とし、監督職員の承諾による				
・熱線吸収ガラス																																																																																																																																															
品種	性能	色調																																																																																																																																													
・熱線吸収フロート板ガラス	・1種	・ブルー																																																																																																																																													
・熱線吸収入磨きガラス	・2種	・グレー																																																																																																																																													
・プロンズ																																																																																																																																															
・複層ガラス																																																																																																																																															
品種	断熱性	日射熱遮へい性																																																																																																																																													
・断熱複層ガラス	・1種	U-1																																																																																																																																													
	・2種	U-2																																																																																																																																													
	・3種	U-3-1																																																																																																																																													
	・U-3-2																																																																																																																																														
・日射熱遮へい複層ガラス																																																																																																																																															
・4種	E4																																																																																																																																														
	・5種	E5																																																																																																																																													
・熱線反射ガラス																																																																																																																																															
品種	日射熱遮へい性	耐久性																																																																																																																																													
・熱線反射ガラス	・1種	A種																																																																																																																																													
色調 (・ブルー・グレー)	・2種	A種																																																																																																																																													
・B種																																																																																																																																															
・高機能熱線反射ガラス	・3種	B種																																																																																																																																													
色調 (・プロンズ・シルバー)																																																																																																																																															
反射被膜面	内面	外面																																																																																																																																													
映像調整	・行わない	・行う																																																																																																																																													
・耐熱強化ガラス																																																																																																																																															
材料板ガラスの種類	厚さ (mm)	色調																																																																																																																																													
		・グリーン																																																																																																																																													
・グレー		・ブルー																																																																																																																																													
・プロンズ																																																																																																																																															
・()																																																																																																																																															
・倍強度ガラス																																																																																																																																															
材料板ガラスによる種類の名称		色調																																																																																																																																													
・フロート倍強度ガラス		—																																																																																																																																													
・熱線吸収倍強度ガラス		・ブルー																																																																																																																																													
・グレー		・プロンズ																																																																																																																																													
ガラスの留め具及び溝の大きさ																																																																																																																																															
建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm)																																																																																																																																													
アルミニウム製	※シーリング材 (SR-1)	※改修仕表5.13.1による																																																																																																																																													
	・ガスケット	・図示																																																																																																																																													
	・グレイジングチャンネル形																																																																																																																																														
鋼製及び銅製軽量	※シーリング材 (SR-1)	※改修仕表5.13.1による																																																																																																																																													
	・図示																																																																																																																																														
ステンレス製	※シーリング材 (SR-1)	※改修仕表5.13.1による																																																																																																																																													
	・図示																																																																																																																																														
17 錠箱	形式	・30本入 () 個	・60本入 () 個	・120本入 () 個	・本入 () 個																																																																																																																																										
	鋼製品販品とし、監督職員の承諾による																																																																																																																																														
6 内 装 改 修 工 事	1 改修範囲	既存間仕切壁の撤去に伴う当該部の取り合戸天井、壁及び天井の改修範囲 [6.1.3] <p>※壁面より両側100mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。図示</p> <p>天井内の既存壁の撤去に伴う当該部の取合天井の改修範囲</p> <p>※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。図示</p> <p>天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修</p> <p>※既存のまま 図示</p>																																																																																																																																													
2 既存床の撤去及び下地補修	ビニール床シート等の撤去	※仕上げ材のみ (接着剤とも)	[6.2.2] <p>・下地モルタルとし、(図示の範囲) 除下範囲全て</p> <p>合成樹脂塗床材の除下工法</p> <p>・機械的除去方法: 目荒し工法</p> <p>コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるボリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4箇所壁改修工事による</p>																																																																																																																																												
3 既存壁の撤去及び下地補修	同上	※改修標仕4.4によるモルタル塗り	[6.3.2] <p>(塗り厚さ5mmを超える場合の補修 行う 行わない)</p> <p>・図示</p>																																																																																																																																												
4 木下地等の表面仕上げ	表面仕上げの種別	適用箇所	[6.5.1] [表6.5.1] <table border="1"> <tr><td>・A種</td><td></td></tr> <tr><td>・B種</td><td></td></tr> <tr><td>・C種</td><td></td></tr> </table>	・A種		・B種		・C種																																																																																																																																							
・A種																																																																																																																																															
・B種																																																																																																																																															
・C種																																																																																																																																															
5 製材 [G]	「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材		[6.5.2] <table border="1"> <tr><td>施工箇所</td><td>樹種</td><td>寸法 (mm)</td><td>等級</td><td>形状</td><td>含水率</td><td>間伐材等の適用</td></tr> <tr><td>根太</td><td>スギ</td><td>※2種</td><td></td><td></td><td>※A種・B種</td><td></td></tr> </table>	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	間伐材等の適用	根太	スギ	※2種			※A種・B種																																																																																																																															
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	間伐材等の適用																																																																																																																																									
根太	スギ	※2種			※A種・B種																																																																																																																																										
	「製材の日本農林規格」による作業用針葉樹製材																																																																																																																																														
	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	間伐材等の適用																																																																																																																																								
	見え掛り面	スギ	※上小節			※A種・B種																																																																																																																																									
	ひのき																																																																																																																																														
	見え掛り面		※小節以上			※A種・B種																																																																																																																																									
	「製材の日本農林規格」による広葉樹製材																																																																																																																																														
	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	間伐材等の適用																																																																																																																																								
	見え掛り面		※1等			※10%以下																																																																																																																																									
	「製材の日本農林規格」以外の製材																																																																																																																																														
	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	材面の品質	防虫処理	難燃処理	含水率	間伐材等の適用																																																																																																																																							
	作業材の場合	()		・適用する	・適用する	・適用しない	※A種・B種																																																																																																																																								
	代用樹種を使用できない箇所 ()																																																																																																																																														
6 内 装 改 修 工 事	1 内装改修工事 (続)	6 造作用集成材 [G]	ホルムアルデヒド放数量 準規制対象外 <table border="1"> <tr><td colspan="5">・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材</td></tr> <tr><td>施工箇所</td><td>樹種</td><td>寸法 (mm)</td><td>見付け材面の品質</td><td>間伐材等の適用</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>※1等・2等</td><td></td></tr> </table>	・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材					施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用				※1等・2等																																																																																																																														
・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材																																																																																																																																															
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用																																																																																																																																											
			※1等・2等																																																																																																																																												
	6 内装改修工事 (続)	6 内装改修工事 (続)	・天井のふところが3.0mを超える場合 補強方法 ※図示																																																																																																																																												
			・屋内外への耐震補強 ・行う ※行わない																																																																																																																																												
			補強箇所 ※図示																																																																																																																																												
			補強方法 ※図示																																																																																																																																												
			・耐風圧性を考慮した補強 ・行う (1. 一般共通事項 3. 品質計画による) ※行わない																																																																																																																																												
			補強箇所 ※図示																																																																																																																																												
			補強方法 ※図示																																																																																																																																												
			12 軽量鉄骨壁下地																																																																																																																																												
			スタッド、ランナーの種類																																																																																																																																												
			※改修仕表6.7.3によるスタッドの高さによる区分に応じた種類																																																																																																																																												
			13 ビニール床シート [G]																																																																																																																																												
			スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示																																																																																																																																												
			6.8.2, 3]																																																																																																																																												
			種類 JIS記号 施工箇所 色柄 特殊機能 厚さ (mm) 備考																																																																																																																																												
			※無地層の※FS(複層ビニール床シート) ないもの																																																																																																																																												
			・無地 ・TPE樹脂 ・耐荷重性																																																																																																																																												
			※有地層の ピニール系床材 あるもの 床シート 図示																																																																																																																																												
			・無地 ・柄物 ・耐滑性 ・耐薬品性																																																																																																																																												
			14 ピニール床タイル [G]																																																																																																																																												
			工法 ※熱溶接工法 実付け (施工箇所)																																																																																																																																												
			特殊機能																																																																																																																																												
			・帯電防止性評価値 (JIS A 1455) 1.2以上～3.2未満 又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) 1×10 ¹² ～1×10 ¹³ Ω程度																																																																																																																																												
			JIS記号 施工箇所 色柄 寸法 特殊機能 厚さ (mm) 備考																																																																																																																																												
			・FT (複層ビニール床タイル) ・無地 ・柄物 ・防滑性																																																																																																																																												
			・K T (コボンジションビニール床タイル) ・TT (垂れきビニール床タイル) ・FO A (F O B) ・FO D (F O D)																																																																																																																																												
			・無地 ・柄物 ・帯電防止 ・防滑性																																																																																																																																												
			特殊機能																																																																																																																																												
			・帯電防止性評価値 (JIS A 1455) 1.2以上～3.2未満 又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) 1×10 ¹² ～1×10 ¹³ Ω程度																																																																																																																																												
			置敷形ビニール床タイル (FOA・FOB) の接着剤は粘着ではなく離形とし、製造所の指定する製品とする																																																																																																																																												
			・帯電防止ビニール床タイル (F O A・F O B) 下記に示す製造所の商品程度とする																																																																																																																																												
			・耐熱性ビニール床タイル 下記に示す製造所の商品程度とする																																																																																																																																												
			15 ピニール幅木																																																																																																																																												
			材質 ※軟質・硬質 高さ (mm) ※60 厚さ (mm) 75 備考																																																																																																																																												
			厚さ (mm) ※1.5以上																																																																																																																																												
			16 カーペット敷き [G]																																																																																																																																												
			・タイルカーペット																																																																																																																																												
			パイル形状 種別 施工箇所 寸法 総厚さ (mm) 備考																																																																																																																																												
			※ループパイル 第一種 500×500 6.5																																																																																																																																												
			・第二種 450×450																																																																																																																																												
			・カットパイル 第一種 300×300 6.5																																																																																																																																												
			・第二種 450×450																																																																																																																																												
			・カット・ループ併用 第一種 500×500 6.5																																																																																																																																												
			色柄 ※無地 柄物																																																																																																																																												
			タイルカーペットの敷き方 平場 市松敷き 模様敷き																																																																																																																																												
			階段部分 模様敷き 市松敷き																																																																																																																																												
			見切り、押え金物 適用する (材質、形状等) ※図示																																																																																																																																												
			※適用しない																																																																																																																																												
			17 合成樹脂塗床																																																																																																																																												
			種別 施工箇所 工法 仕上げの種類																																																																																																																																												
			・薄型塗床材 平場 市松敷き																																																																																																																																												
			・強性カシ樹脂系塗床 つや消し仕上げ																																																																																																																																												
			※薄模様流し展べ工法 平滑仕上げ																																																																																																																																												
			・強模様流し展べ工法 市松仕上げ																																																																																																																																												
			・樹脂モルタル工法																																																																																																																																												
			・薄型塗床材 (JIS K 5970)																																																																																																																																												
			工程 塗布量 (kg/m ²)																																																																																																																																												
			・表面仕上げ																																																																																																																																												
			・平滑・防滑・溶剂系																																																																																																																																												
			・水性色・溶剤系・無溶剤系																																																																																																																																												
			・仕上げ色																																																																																																																																												
			・標準色																																																																																																																																												
			塗料のホルムアルデヒド放数量 準規制対象外																																																																																																																																												
			単層フローリング [G]																																																																																																																																												
			6.11.2~6) [表6.11.1~5]																																																																																																																																												
			種類 工法 樹種 厚さ (mm) 大きさ 仕上塗装 間伐材等の適用																																																																																																																																												
			・フローリングボード 1等 釘留め工法 (根張り) 15 板幅75 板長さ500以上																																																																																																																																												
			・釘留め工法 (直張り) 12以上 板幅75 板長さ500以上																																																																																																																																												
			・接着工法 12以上 板幅75 板長さ500以上																																																																																																																																												
			・フローリングブロック 1等 303×303 塗装品																																																																																																																																												

内装改修工事 (統合)	23 タイル張り	伸縮調整具の位置 床タイル (※縦、横とも4m以内ごと) (図示) [6.16.2~4]	⑥ 内装改修工事 (統合)	27 移動間仕切	(20.2.4)	6 内装改修工事 (統合)	37 コーナーピード	材質 ※アルミニウム押出形材差込型 (壁ボード・シルバー・焼付)	7 塗装改修工事 (統合)	つや有成樹脂マルションペイント塗り (コート面、モルタル面、ガラス面、セッコウボード面、その他)
	・セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り	施工箇所 形状/寸法 吸水率による区分 I類 II類 III類 うわぐすり 役物 色 再生材の耐害性別 備考 (mm)		構造形式 操作方法 压縮装置の操作方法 緩和時間 (mm) 表面仕上材 材質 (db/500Hz) 遮音性 (dB/500Hz)	表面仕上材 ハネル裏面 仕上げ (G) 有無		38 天井見切線	材質 ※アルミニウム押出形材 (壁保護金物) 塗化ビニル製		ドア面の塗装との場合のしみ止め
内装改修工事 (統合)	タイルの形状・寸法等	施工箇所 形状/寸法 吸水率による区分 I類 II類 III類 うわぐすり 役物 色 再生材の耐害性別 備考 (mm)	・平行方向 移動式 手動式 電動式 電子式	・ブッシュ式 ハンドル式 ブッシュ式	※60程度	39 天井点検口	施工箇所 ※仕上表による	施工箇所 ※仕上表による	※改修工事7.9.1の工程の下塗りをしみ止めシーラーとする	
	・二方向 移動式 部分電動式	・ハンドル式	・100程度	・板金	・壁紙張り		・36未満	・36以上		合成樹脂エマルジョンペイント塗りの場合のしみ止め
内装改修工事 (統合)	標準的な曲がりの役物は一体成形する	ハネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能、種仕上章による。	・高射反射率塗料塗り	・高射反射率塗料塗り	・高射反射率塗料塗り	40 床点検口	・高射反射率塗料塗り	・R.A種 R.B種 R.C種	※改修工事7.10.1の工程の下塗りをしみ止めシーラーとする	※改修工事7.10.1の工程の下塗りをしみ止めシーラーとする
	試験張り 行う ※行わない	遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする。		・ハンガーレールの取付け下地の補強	※取付全重量の5倍以上の場合に対して、使用上支撑のない耐力及び変形量となるように補強する。		・床点検口	・床点検口		・高射反射率塗料塗り
内装改修工事 (統合)	見本焼き 行う ※行わない	見本焼き	・設置合モルタル	・設置合モルタル	・設置合モルタル	41 仕上塗材仕上げ	・設置合モルタル	・設置合モルタル	下地調整 (改修工事7.2.2) R.A種 R.B種 R.C種	下地調整 (改修工事7.2.2) R.A種 R.B種 R.C種
	既製接着剤による陶磁器質タイル張り	既製接着剤による陶磁器質タイル張り		・既製接着剤 (タイプI) 施工箇所 ()	・既製接着剤 (タイプII) 施工箇所 (便所、湯沸室)		・既製接着剤 (タイプI) 施工箇所 ()	・既製接着剤 (タイプII) 施工箇所 ()		・既製接着剤 (タイプI) 施工箇所 ()
内装改修工事 (統合)	内装タイル接着剤張りに使用する有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量	※既製接着剤外	24 セルフレベリング材塗り	・有機質接着剤 (タイプI) 施工箇所 ()	・有機質接着剤 (タイプII) 施工箇所 ()	[6.16.5]	・既製接着剤 (タイプI) 施工箇所 ()	・既製接着剤 (タイプII) 施工箇所 ()	[6.17.2.3]	・既製接着剤 (タイプI) 施工箇所 ()
	種類 セッコウ系 セメント系	塗厚 (mm) *		・セルフレベリング材塗り	・セルフレベリング材塗り		・セルフレベリング材塗り	・セルフレベリング材塗り		・セルフレベリング材塗り
内装改修工事 (統合)	25 フリーアクセスプロア	[20.2.2]	施工箇所 寸法 (mm) 高さ (mm) 所在荷重 (N) 表面仕上げ材 備考	施工箇所 寸法 (mm) 取付け工法 端部フラットエンド	施工箇所 寸法 (mm) 取付け工法 端部フラットエンド	41 仕上塗材仕上げ	建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量	建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量	[15.5.2]	打放しコンクリート面保護工法 (下塗材) 水性浸透吸水防止材 (上塗材) 水性フッ素樹脂クリヤー 水性フッ素樹脂カラクリヤー
	施工箇所 寸法 (mm) 取付け工法 端部フラットエンド	施工箇所 寸法 (mm) 取付け工法 端部フラットエンド		施工箇所 寸法 (mm) 取付け工法 端部フラットエンド	施工箇所 寸法 (mm) 取付け工法 端部フラットエンド		・既製接着剤 (タイプI) 施工箇所 ()	・既製接着剤 (タイプII) 施工箇所 ()		・既製接着剤 (タイプI) 施工箇所 ()
内装改修工事 (統合)	30 階段滑り止め	(20.2.6)	施工箇所 寸法 (mm) 取付け工法 端部フラットエンド	施工箇所 寸法 (mm) 取付け工法 端部フラットエンド	施工箇所 寸法 (mm) 取付け工法 端部フラットエンド	41 仕上塗材仕上げ	・既製接着剤 (タイプI) 施工箇所 ()	・既製接着剤 (タイプII) 施工箇所 ()	[15.5.2]	5 フッ素樹脂塗装
	31 床目地棒	(20.2.7)		施工箇所 寸法 (mm) 取付け工法 端部フラットエンド	施工箇所 寸法 (mm) 取付け工法 端部フラットエンド		・既製接着剤 (タイプI) 施工箇所 ()	・既製接着剤 (タイプII) 施工箇所 ()		6 焼付塗装
内装改修工事 (統合)	32 手すり	(20.2.8)	・既製手すり (樹脂製、屋外用)	・既製手すり (樹脂製、屋外用)	・既製手すり (樹脂製、屋外用)	41 仕上塗材仕上げ	・既製手すり (樹脂製、屋外用)	・既製手すり (樹脂製、屋外用)	[15.5.2]	7 漆装改修工事
	33 プライント	(20.2.12)		・既製手すり (樹脂製、屋外用)	・既製手すり (樹脂製、屋外用)		・既製手すり (樹脂製、屋外用)	・既製手すり (樹脂製、屋外用)		8 1 アスベスト成形板の処理等
内装改修工事 (統合)	34 カーテン	(20.2.14)	・再使用する 新設する	・再使用する 新設する	・再使用する 新設する	41 仕上塗材仕上げ	・アスベスト成形板の処理等	・アスベスト成形板の処理等	[9.1.1.3~5]	処理を行うアスベスト成形板の処理等
	35 カーテンレール	(20.2.14)		・再使用する 新設する	・再使用する 新設する		・アスベスト成形板の処理等	・アスベスト成形板の処理等		※図示 (仕上表による)
内装改修工事 (統合)	36 ブラインドボックス及びカーテンボックス	(20.2.14)	・再使用する 新設する	・再使用する 新設する	・再使用する 新設する	41 仕上塗材仕上げ	・アスベスト成形板の処理等	・アスベスト成形板の処理等	[9.1.1.3~5]	※アスベスト含有建材の事前調査
	37 ブラインドボックス及びカーテンボックス	(20.2.14)		・再使用する 新設する	・再使用する 新設する		・アスベスト成形板の処理等	・アスベスト成形板の処理等		工事着手に先立ち、目視及び質する設計図書等によりアスベストを含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査し、監督職員に報告する。
内装改修工事 (統合)	38 カーテンレール	(20.2.14)	・再使用する 新設する	・再使用する 新設する	・再使用する 新設する	41 仕上塗材仕上げ	・アスベスト含有建材の調査	・アスベスト含有建材の調査	[9.1.1.3~5]	調査範囲 (※改修対象部位 図示)
	39 カーテンレール	(20.2.14)		・再使用する 新設する	・再使用する 新設する		・アスベスト含有建材の調査	・アスベスト含有建材の調査		・アスベスト含有建材の調査
内装改修工事 (統合)	40 カーテンレール	(20.2.14)	・再使用する 新設する	・再使用する 新設する	・再使用する 新設する	41 仕上塗材仕上げ	・アスベスト含有建材の調査	・アスベスト含有建材の調査	[9.1.1.3~5]	・分析によるアスベスト含有建材の調査
	41 カーテンレール	(20.2.14)		・再使用する 新設する	・再使用する 新設する		・アスベスト含有建材の調査	・アスベスト含有建材の調査		・分析対象
内装改修工事 (統合)	42 カーテンレール	(20.2.14)	・再使用する 新設する	・再使用する 新設する	・再使用する 新設する	41 仕上塗材仕上げ	・アスベスト含有建材の調査	・アスベスト含有建材の調査	[9.1.1.3~5]	アクリルノイロ、アモサイト、アソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト
	43 カーテンレール	(20.2.14)		・再使用する 新設する	・再使用する 新設する		・アスベスト含有建材の調査	・アスベスト含有建材の調査		・分析方法
内装改修工事 (統合)	44 カーテンレール	(20.2.14)	・再使用する 新設する	・再使用する 新設する	・再使用する 新設する	41 仕上塗材仕上げ	・アスベスト含有建材の調査	・アスベスト含有建材の調査	[9.1.1.3~5]	・分析結果
	45 カーテンレール	(20.2.14)		・再使用する 新設する	・再使用する 新設する		・アスベスト含有建材の調査	・アスベスト含有建材の調査		アスベスト粉じん濃度測定
内装改修工事 (統合)	46 カーテンレール	(20.2.14)	・再使用する 新設する	・再使用する 新設する	・再使用する 新設する	41 仕上塗材仕上げ	・アスベスト含有建材の調査	・アスベスト含有建材の調査	[9.1.1.3~5]	・行わない
	47 カーテンレール	(20.2.14)		・再使用する 新設する	・再使用する 新設する		・アスベスト含有建材の調査	・アスベスト含有建材の調査		・行う (下表による)
内装改修工事 (統合)	48 カーテンレール	(20.2.14)	・再使用する 新設する	・再使用する 新設する	・再使用する 新設する	41 仕上塗材仕上げ	・アスベスト含有建材の調査	・アスベスト含有建材の調査	[9.1.1.3~5]	測定室 ()
	49 カーテンレール	(20.2.14)		・再使用する 新設する	・再使用する 新設する		・アスベスト含有建材の調査	・アスベスト含有建材の調査		測定時期 () 測定場所 室名 () 室名 () 測定点 () 備考
内装改修工事 (統合)	50 カーテンレール	(20.2.14)	・再使用する 新設する	・再使用する 新設する	・再使用する 新設する	41 仕上塗材仕上げ	・アスベスト含有建材の調査	・アスベスト含有建材の調査	[9.1.1.3~5]	処理作業前 処理作業室内 () 点 () 点
	51 カーテンレール	(20.2.14)		・再使用する 新設する	・再使用する 新設する		・アスベスト含有建材の調査	・アスベスト含有建材の調査		処理作業中 処理作業室内 () 点 () 点
内装改修工事 (統合)	52 カーテンレール	(20.2.14)	・再使用する 新設する	・再使用する 新設する	・再使用する 新設する	41 仕上塗材仕上げ	・アスベスト含有建材の調査	・アスベスト含有建材の調査	[9.1.1.3~5]	処理作業後 処理作業室内 () 点 () 点
	53 カーテンレール	(20.2.14)		・再使用する 新設する	・再使用する 新設する		・アスベスト含有建材の調査	・アスベスト含有建材の調査		測定期合計 () 点
内装改修工事 (統合)	54 カーテンレール	(20.2.14)	・再使用する 新設する	・再使用する 新設する	・再使用する 新設する	41 仕上塗材仕上げ	・アスベスト含有建材の調査	・アスベスト含有建材の調査	[9.1.1.3~5]	測定期合計 () 点
	55 カーテンレール	(20.2.14)		・再使用する 新設する	・再使用する 新設する		・アスベスト含有建材の調査	・アスベスト含有建材の調査		測定期合計 () 点
内装改修工事 (統合)	56 カーテンレール	(20.2.14)	・再使用する 新設する	・再使用する 新設する	・再使用する 新設する					

設計概要									
建築主 氏名	和泊町長 前 登志朗	工事名称	和泊中学校校舎改修工事	用途地域	無指定	建築物の数	1棟(対象外1棟)		
郵便番号	〒891-9112	建設地	鹿児島県大島郡和泊町手々知名130	指定建ぺい率	70%	日影制限	対象外		
住所	鹿児島県大島郡和泊町和泊10番地	都市計画の内外の別等	都市計画区域内	指定容積率	400%	予定期	6ヶ月		
電話	0997-92-1111	防火地域	指定なし	絶対高さ制限	なし	建物高さ	最高の軒高: 8.30m 最高高さ: 11.45m		
		道路幅員・接道長さ	道路幅員: 13.0m 接道長さ: 17.2m	主要用途	中学校 (08090)	建築面積	- m ²		
		敷地面積	21,413m ²	工事種別	改修工事(確認申請を伴わない)	延床面積	3,859.00m ²		



※改修工事施工中は、学校、教育委員会監督職員と協議し、児童等の安全対策を入念に講じること。

特記事項	A R C H I - P L A N	一級建築士事務所 (株)アーキ・プラン 〒890-0032 鹿児島市紫原三丁目44-18 TEL (099)259-0078 FAX (099)259-0096	DIRECTOR 吉川	CHIEF 沖田	DRAWER 沖田	工事名	和泊中学校校舎改修工事		DATE R5.12.25	JOB NO. PWT-111S	SHEET NO. A-06
							図名	付近見取図・配置図・設計概要			
									SCALE A3, 1:1,200 A1, 1: 600		一級建築士 鹿児島市登録第64458号 古川 稔

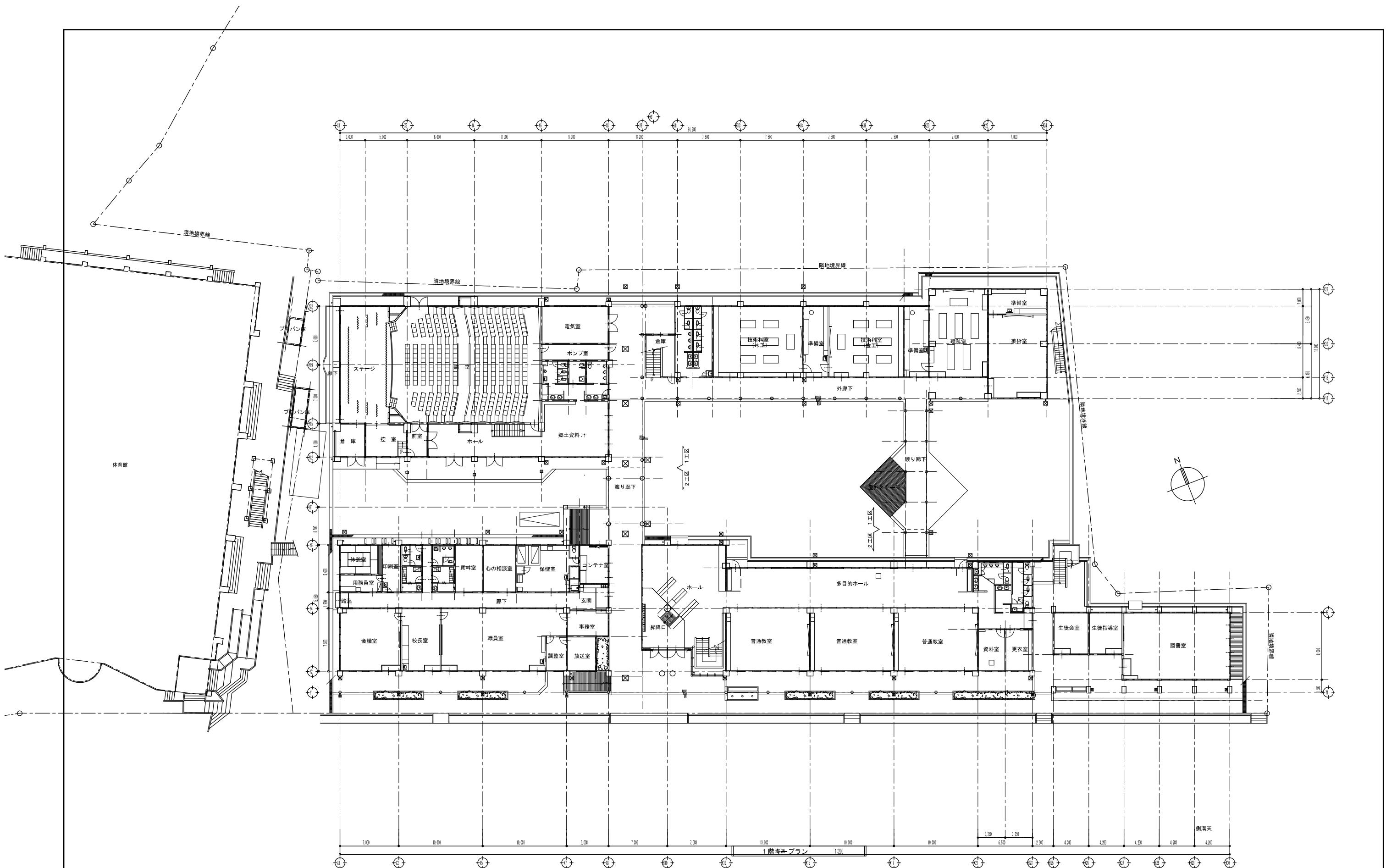
外部仕上表

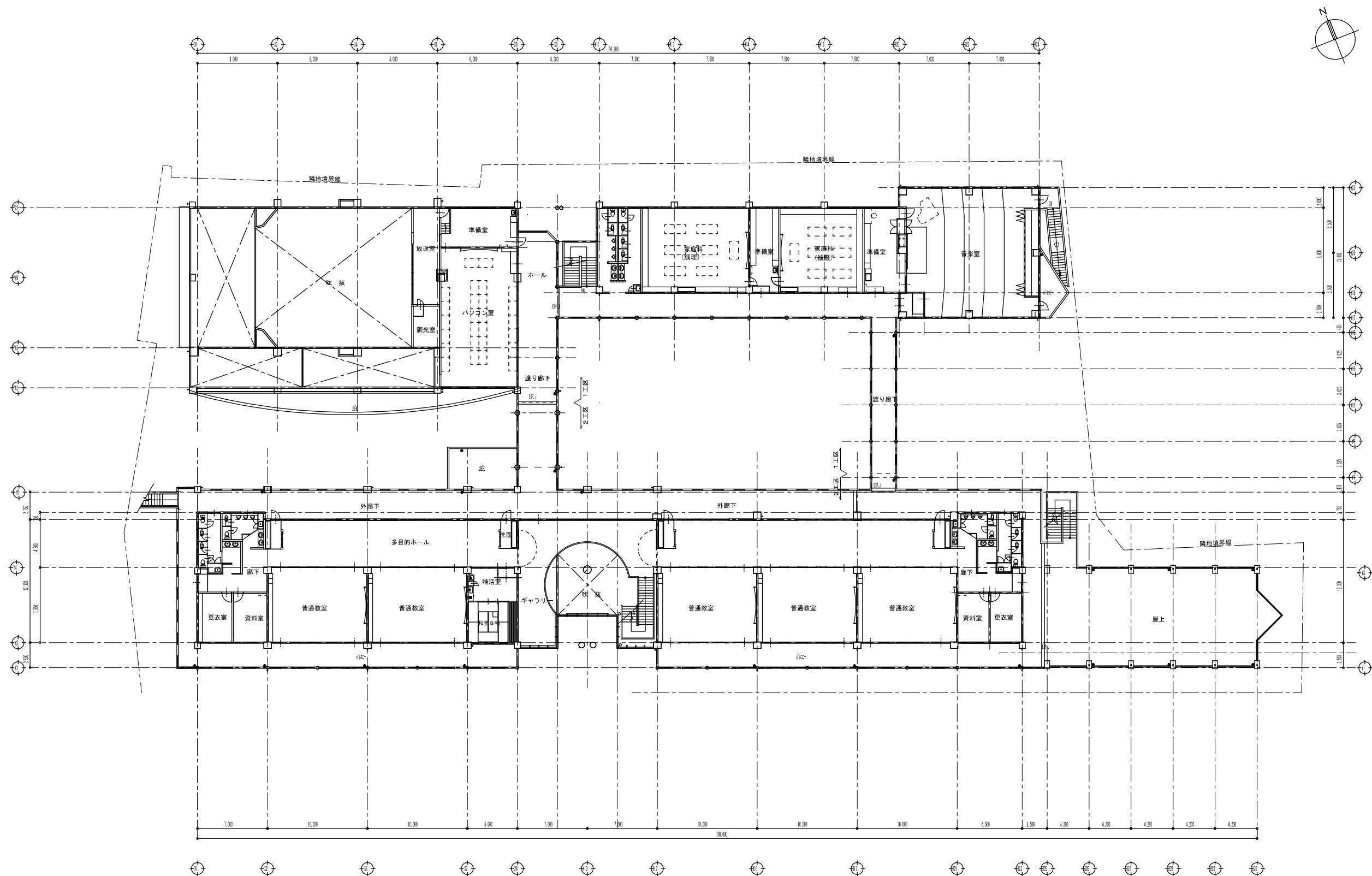
部位	区分	部位	区分	部位	区分	部位	区分	部位	区分
勾配屋根 (ウォールト含む)	改修前	コンクリート金コテ押えアスファルトルーフィング敷の上 厚0.4フッ素樹脂塗装ガルバリウム鋼板瓦棒葺き	揚裏(仕上有) 改修前 軽天下地厚6ノンアスケイカル板2重貼の上EP塗 改修後 ケイカル板撤去後厚10ケイカル板張替の上EP-G塗	サッシ廻り (トップライト共)	改修前 シーリング	バーゴラ屋根 改修前 鉄骨組(溶融亜鉛メッキ処理)、鋼製グレーティング(メッキ処理)嵌め込み 改修後 グレーティング撤去後、鉄骨発錆部ケレン清掃の上専用補修塗料			
	改修後				改修後 变成シリコーンシーリング 打替え				
陸屋根	改修前	コンクリート金コテ押えの上塗膜防水(X-2密着工法)	ドレイン 改修前 ルーフドレン: 鋳鉄製φ100、中継ドレン: 鋳鉄製φ100 改修後 改修用ドレン取付	天井換気孔 (設備換気孔共)	改修前 アルミ製丸型風防付ガラリφ100	バルコニー屋根 改修前 鉄骨組(溶融亜鉛メッキ処理)、鋼製ルーバー(メッキ処理)嵌め込み 改修後 発錆部ケレン清掃の上専用補修塗料			
	改修後				改修後 既存撤去後ステンレス製深型フード付ガラリφ100取替				
外壁	改修前	コンクリート打放し補修の上アイカジョリバット吹付 (下地調整材はアスペスト含有)	縦樋 改修前 樋: VPφ100塗装 改修後 樋: VPφ100再塗装 撤去・再取付 拘束物: ステンレス金物取替	床下換気孔	改修前 GRC製換気口(防虫網付)	既存のまま			
	改修後				改修後 既存のまま				
外部巾木	改修前	モルタル金コテ押え	外廊下等手摺壁 階段手摺共 改修前 コンクリート打放し補修の上アイカジョリバット吹付 (下地調整材はアスペスト含有)	EXP.J.カバー	改修前 アルミ製既製品 クリアランス50~100	既存のまま			
	改修後				改修後 既存のまま				
揚裏(仕上無)	改修前	コンクリート打放し補修の上アクリルシン吹付(一部EP塗)	外廊下・階段 ハンドル-鋼製手摺 図書室屋上手摺共 改修前 鋼製50×12加工 溶融亜鉛メッキ処理の上専用塗装	犬走	改修前 コンクリート金コテ押え	既存のまま			
	改修後				改修後 既存のまま				

参考数量表

工種	名 称	摘 要	数量(1工区)	数量(2工区)	単位	備 考	工種	名 称	摘 要	数量(1工区)	数量(2工区)	単位	備 考	
直接仮設工事	養生	外壁改修	783	1,237	m ²		建具工事	AA-2-3 雨戸新設	W=6,900×H=2,000 4枚引分け8枚建雨戸			1	か所	
	養生	屋上防水改修	1,509	2,031	m ²	露出防水(塗膜)		AD-3-6両開きアルミドア新設	W=2,000×H=2,500 カバー工法	1		か所		
	整理清掃後片付け	外壁改修	783	1,237	m ²			AD-3-8両開きアルミドア新設	W=2,000×H=2,000 カバー工法	1		か所		
	整理清掃後片付け	屋上防水改修	1,509	2,031	m ²	露出防水(塗膜)	塗装工事	竖樋φ100耐候性塗料塗(DP)	C種ポリウレタン系樹脂塗装RB種共	187	174	m		
	枠組本足場	手すり先行方式12m未満	2,679	2,509	m ²	建柱600×1700		竖樋φ75耐候性塗料塗(DP)	C種ポリウレタン系樹脂塗装RB種共		13	m		
	プラケット足場		347	123	m			外部手摺発錆部専用補修塗料塗	腐食部のみケレン清掃共	10	30	m ²		
	安全手すり	手すり先行方式枠組本足場用	314	325	m			鉄骨発錆部専用補修塗料塗	腐食部のみケレン清掃共	35	m ²			
	メッシュシート張り	防炎I類	2,679	2,509	m ²			鋳製ルーバー発錆部専用補修塗料塗	腐食部のみケレン清掃共	50	m ²			
	外部仕上足場	階高4.0m以下脚立足場	477	626	m ²			E P-G塗	軒天ケイカル板面工程B種素地B種	96	m ²			
	外部仕上足場	手すり先行方式枠組棚足場 階高7.4m~9.1m	25.8	31.4	m ²			E P-G塗(改修仕様)	コンクリート面工程B種下地調整RB種(塗替面)	93.4	124	m ²		
	外部階段仕上足場		14.4	14.4	m ²			高压水洗浄		93.4	124	m ²	15Mpa程度	
	仮設材運搬	枠組本足場(手すり先行方式)	2,679	2,509	m ²	建柱600	内外装工事	軒天厚10ケイカル板目透し張	タイプ2(ノンアス)0.8FK	96	m ²			
	仮設材運搬	プラケット足場	347	123	m			外壁改修工事	施工数量調査(外壁改修)	打放し面・仕上塗材改修	3,638	4,433	m ²	
	仮設材運搬	安全手すり(手すり先行方式枠組本足場用)	314	325	m					3.5	3.4	m ²	爆裂・欠損部改修壁面	
	仮設材運搬	シート張り	2,679	2,509	m ²			鉄筋の鏽落し		3.5	3.4	m ²	同上	
	仮設材運搬	外部仕上足場脚立足場	477	626	m ²	軒高7.4m~9.1m		防錆剤塗布		3.5	3.4	m ²	同上	
	仮設材運搬	外部仕上足場手すり先行方式枠組棚足場	25.8	31.4	m ²			ポリマーセメントモルタル充填工法	刷毛引仕上壁面厚30mm程度	0.6	1.2	m ²	爆裂・欠損部改修天井面	
	仮設材運搬	外部階段仕上足場	14.4	14.4	m ²			鉄筋の鏽落し		0.6	1.2	m ²	同上	
防水工事	塗膜防水(X-2密着工法)平面	ウレタンゴム系表面塗装共	1,462	2,022	m ²	メーカー標準色		防錆剤塗布		0.6	1.2	m ²	同上	
	塗膜防水(X-2密着工法)立上り	ウレタンゴム系表面塗装共	36.2	28.3	m ²	メーカー標準色		ポリマーセメントモルタル充填工法	刷毛引仕上天井面厚12mm程度	0.6	1.2	m ²	ひび割れ部改修壁面	
	塗膜防水(X-2密着工法)排水溝	ウレタンゴム系表面塗装共	131	190	m ²	メーカー標準色		自動式低圧エボキシ樹脂注入工法	壁面	179	174	m ²	ひび割れ部改修天井面	
	下地調整	カチオン系	1,629	2,240	m ²			自動式低圧エボキシ樹脂注入工法	天井面	31	60	m ²		
	屋根面高圧水洗浄		526	737	m ²	15Mpa程度				1,103	1,456	m ²		
	改修用ルーフドレンφ100	ストレーナー撤去共	18	24	か所			ケレン・清掃	既存瓦棒・横葺き屋根撤去跡	1,103	1,456	m ²		
	改修用ルーフドレンφ75	ストレーナー撤去共		1	か所			デッキ材撤去	杉板厚19根太・大引共集積共	11.6	m ²			
	ストレーナー取替φ100	ストレーナー撤去共	5	11	か所			バーゴラグレーティング撤去	スチール亜鉛メッキ厚25集積共	75.6	m ²			
	ストレーナー取替φ75	ストレーナー撤去共		1	か所			天井換気孔撤去	既存アルミ製丸型風防付ガラリ撤去集積共	25	25	か所		
	シーリング材(換気孔)	変成シリコーン系(MS-2)10×10	14.5	14.5	m			天井合板・ボード撤去	二重張り一般集積共	96	m ²			
	シーリング材(建具周囲)	変成シリコーン系(MS-2)15×10	976	1,178	m		発生材処理	シーリング撤去	集積共	963	1,178	m ²		
	既存堅樋撤去・再取付VPφ100	ステンレス製拘み金物取替共	187	174	m	④1,000		発生材積込・運搬(2t積)・処分(再資源化)	木材人力	0.5	m ³	D1D区間無し3.5km以下		
	既存堅樋撤去・再取付VPφ75	ステンレス製拘み金物取替共		13	m	④1,000		発生材積込・運搬(2t積)・処分	アスファルトルーフィング人力	1.4	m ³	D1D区間無し3.4km以下		
金属工事	天井換気孔ステンレス深型フード付きガラリφ100取替		25	25	か所			発生材積込・運搬(2t積)・処分	ケイカル板人力	2.3	m ³	D1D区間無し3.4km以下		
	天井巡緑塩化ビニル製	既存天井巡緑撤去共		64.9	m			スクラップ	アルミ	76.6	4.6	kg		
左官工事	防水型複層塗材Eアクリル系水系つや有	下地調整(O-I)共、凸凹状吹付	2,808	3,169	m ²	既存吹付面		スクラップ	スチールH3	0.04	2.2	t		
	外装薄塗材E	下地調整(O-I)共、砂壁状吹付	624	1,083	m ²	既存吹付面		スクラップ	スチールH4	5	6.6	t		
	外壁面高圧水洗浄		3,545	4,433	m ²	15Mpa程度		スクラップ	鉄鉄	0.03	0.04	t		
								産業廃棄物税	最終処分場	1.5	4.2	t		

特記事項	一級建築士事務所(株)ア
------	--------------





特記事項



一級建築士事務所 (株)アーキ・プラン
〒890-0032 鹿児島市兼原三丁目44-18
TEL (099) 259-0078 FAX (099) 259-0096

DIRECTOR

吉川

CHIEF

沖田

DRAWER

沖田

工事名

和泊中学校校舎改修工事

DATE

R5.12.25

JOB NO.

PWT-111S

SHEET NO.

A-09

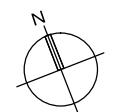
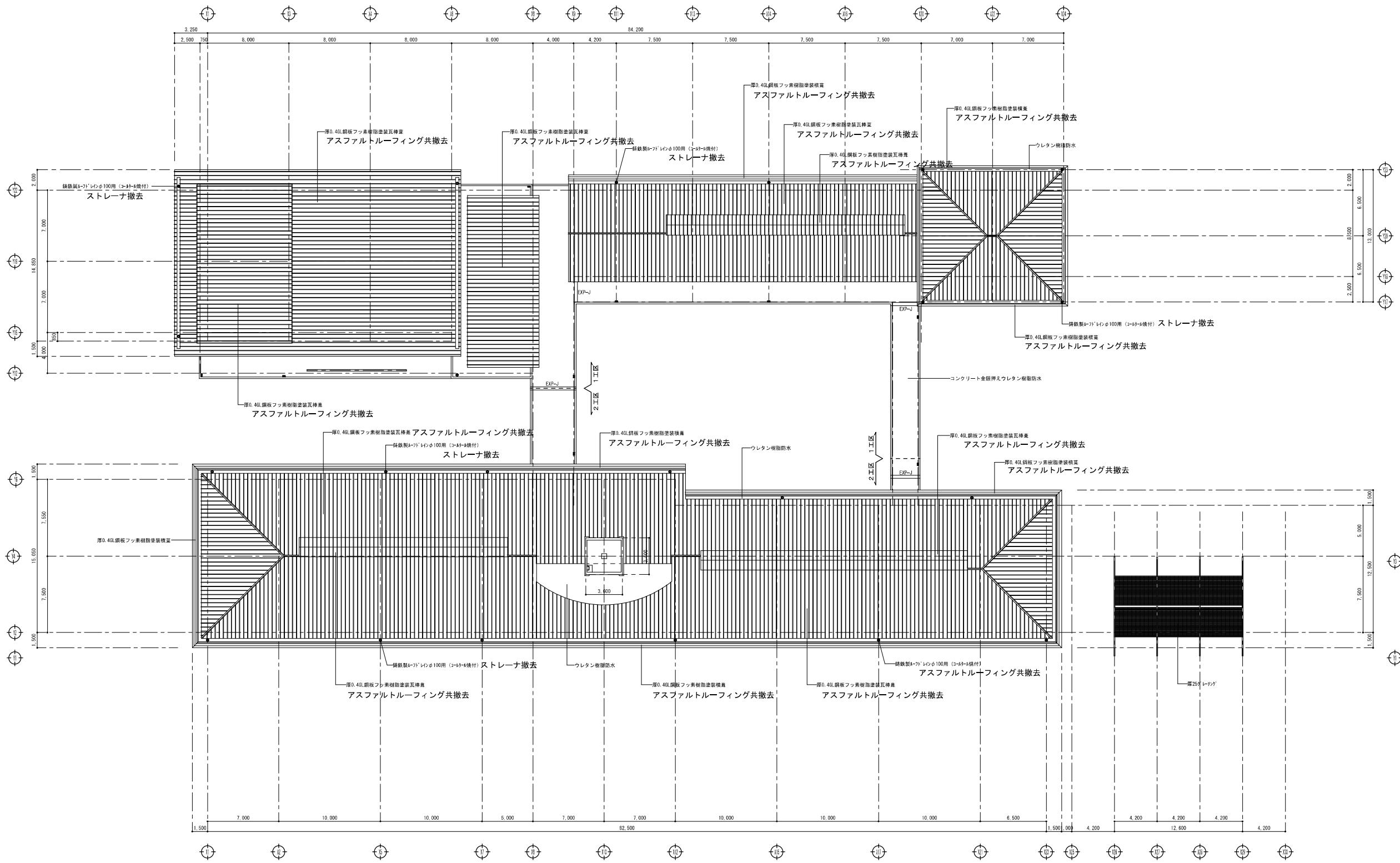
一級建築士 沖田大三登録第64-58号
古川 稔

既存2階平面図

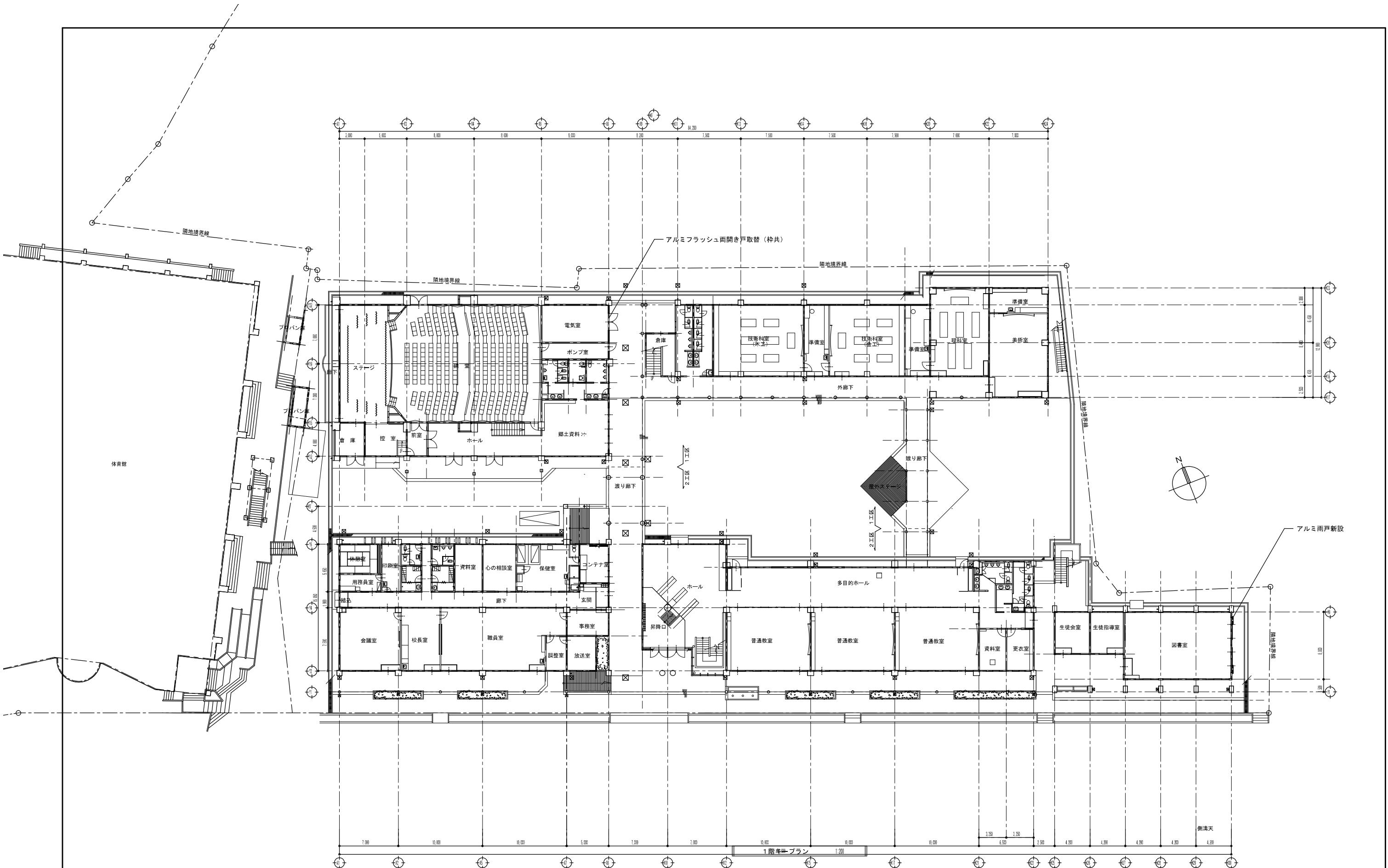
SCALE

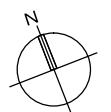
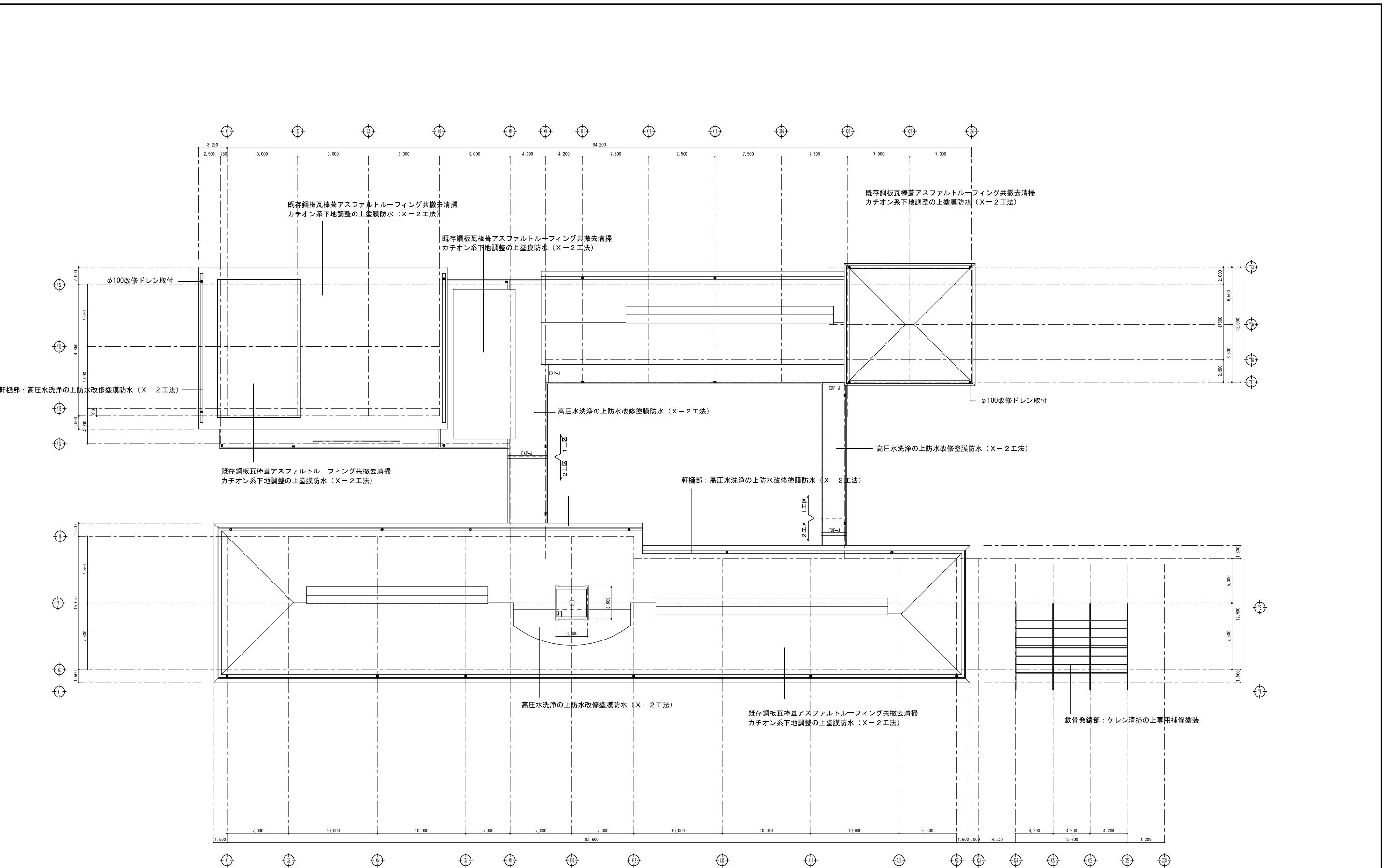
A3, 1:400

A1, 1:200

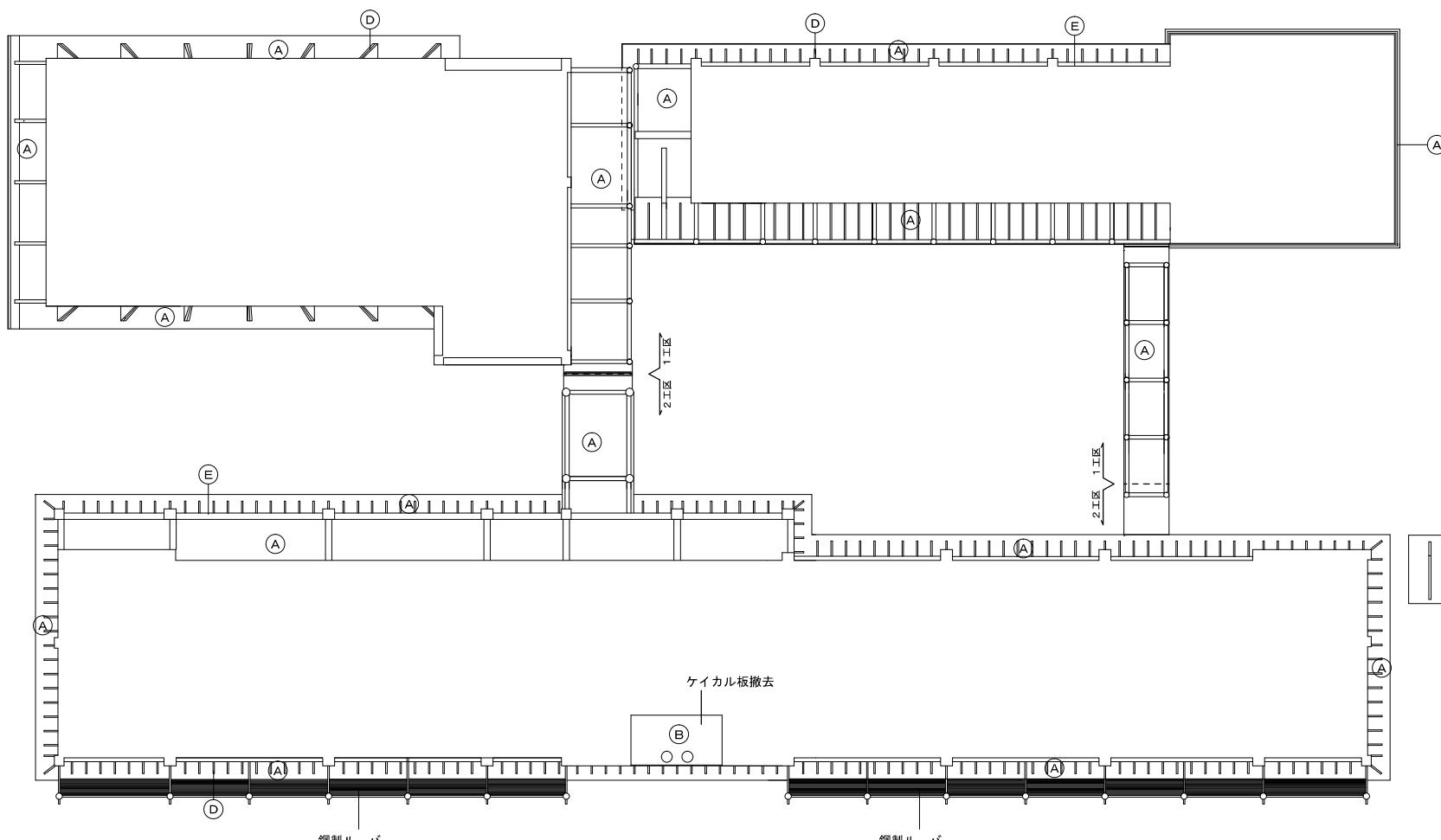


特記事項	A R C H I - P L A N 一級建築士事務所 (株)アーキ・プラン 〒890-0082 鹿児島市紫原三丁目44-18 TEL (099) 259-0070 FAX (099) 259-0086	DIRECTOR  吉川	CHIEF  沖田	DRAWER  沖田	工事名	和泊中学校校舎改修工事	DATE R.5.12.25	JOB NO. PWT-1115	SHEET NO. A-10
					図名	既存屋根伏図	SCALE A3, 1:400 A1, 1:200	一級建築士 建設大臣登録第8445号 古川 稔	



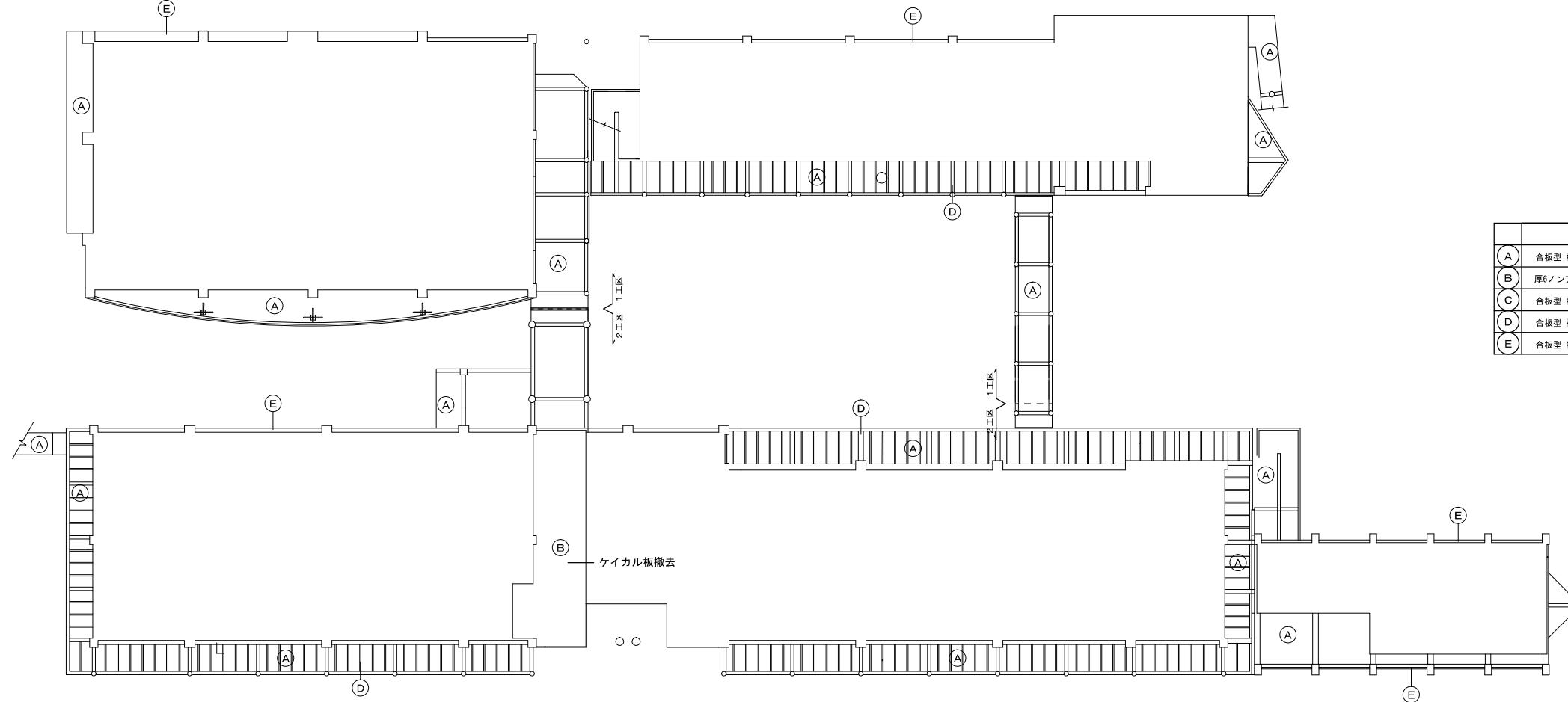


特記事項		A R C H I - P L A N	DIRECTOR	CHIEF	DRAWER	工事名	和泊中学校校舎改修工事	DATE R5.12.25	JOB NO. PWT-111S	SHEET NO. A-1-3
	 ARCHI-PLAN	一級建築士事務所 (株)アーキ・プラン 〒890-0082 鹿児島市紫原三丁目44-18 TEL (099)259-0070 FAX (099)259-0096	吉川	沖田	沖田	図名	改修後屋根伏図	SCALE A3.1:400 A1.1:400	一級建築士 建設大工建築業 古川 総	84 4 58号



既存 2階天井伏図 A3, 1:400
A1, 1:200

仕上表	
(A)	合板型 柄コンクリート打放シ補修ノ上アクリル系リシン吹付
(B)	厚6ノンアス珪酸カルシウム板目透シ貼ノ上EP
(C)	合板型 柄コンクリート打放シ素地
(D)	合板型 柄コンクリート打放シ補修ノ上EP
(E)	合板型 柄コンクリート打放シ補修ノ上ジョリバット吹付



既存 1階天井伏図 A3, 1:400
A1, 1:200

特記事項



A R C H I - P L A N
一級建築士事務所 (株)アーキ・プラン
〒890-0032 鹿児島市紫原三丁目44-18
TEL (099)259-0070 FAX (099)259-0096

DIRECTOR

吉川

CHIEF

沖田

DRAWER

沖田

工事名

和泊中学校校舎改修工事

DATE

R5.12.25

JOB NO.

PWT-111S

SHEET NO.

A-14

一級建築士 鹿児島大正会館第64号
古川 稔

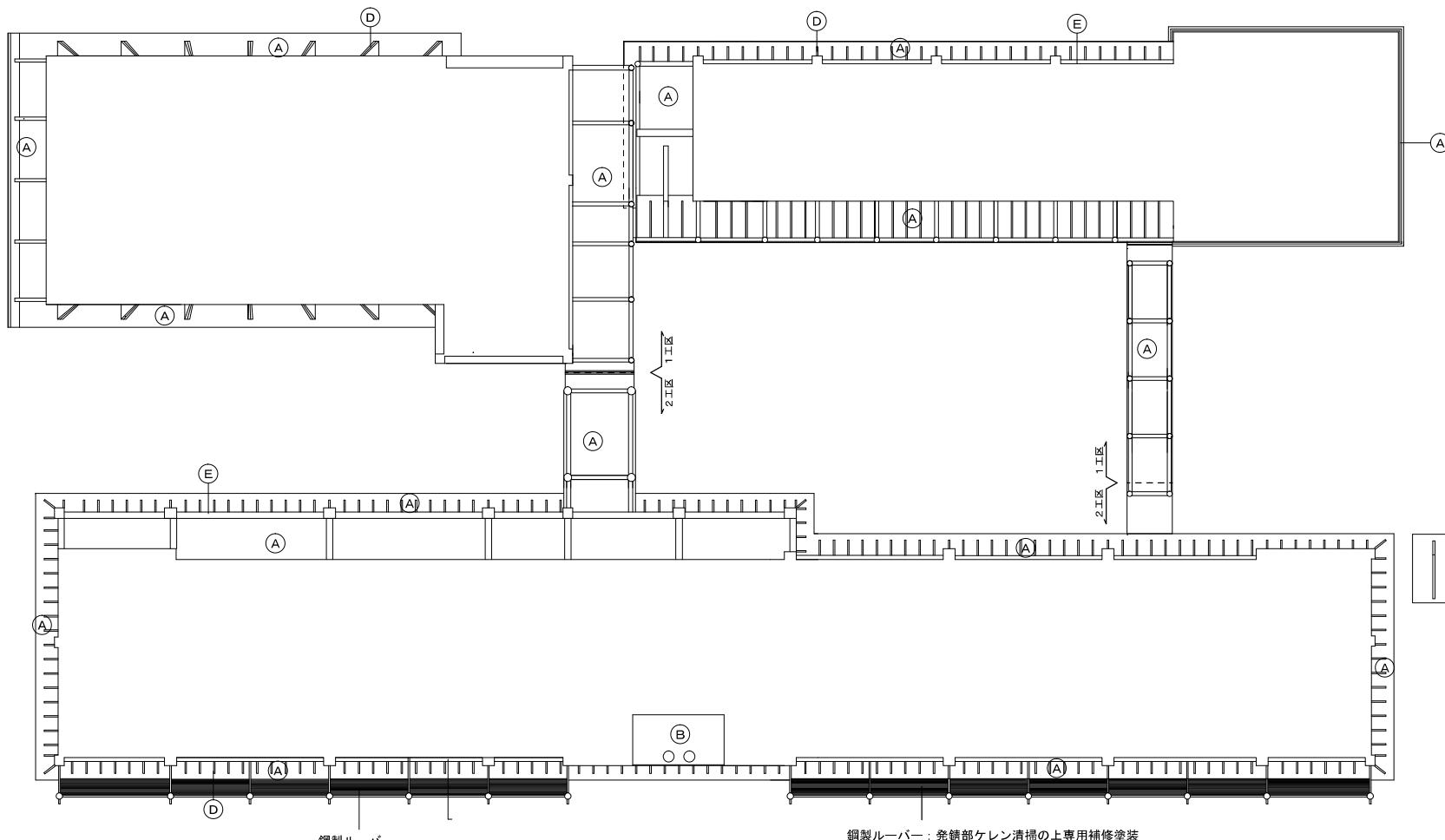
図名

既存外部天井伏図

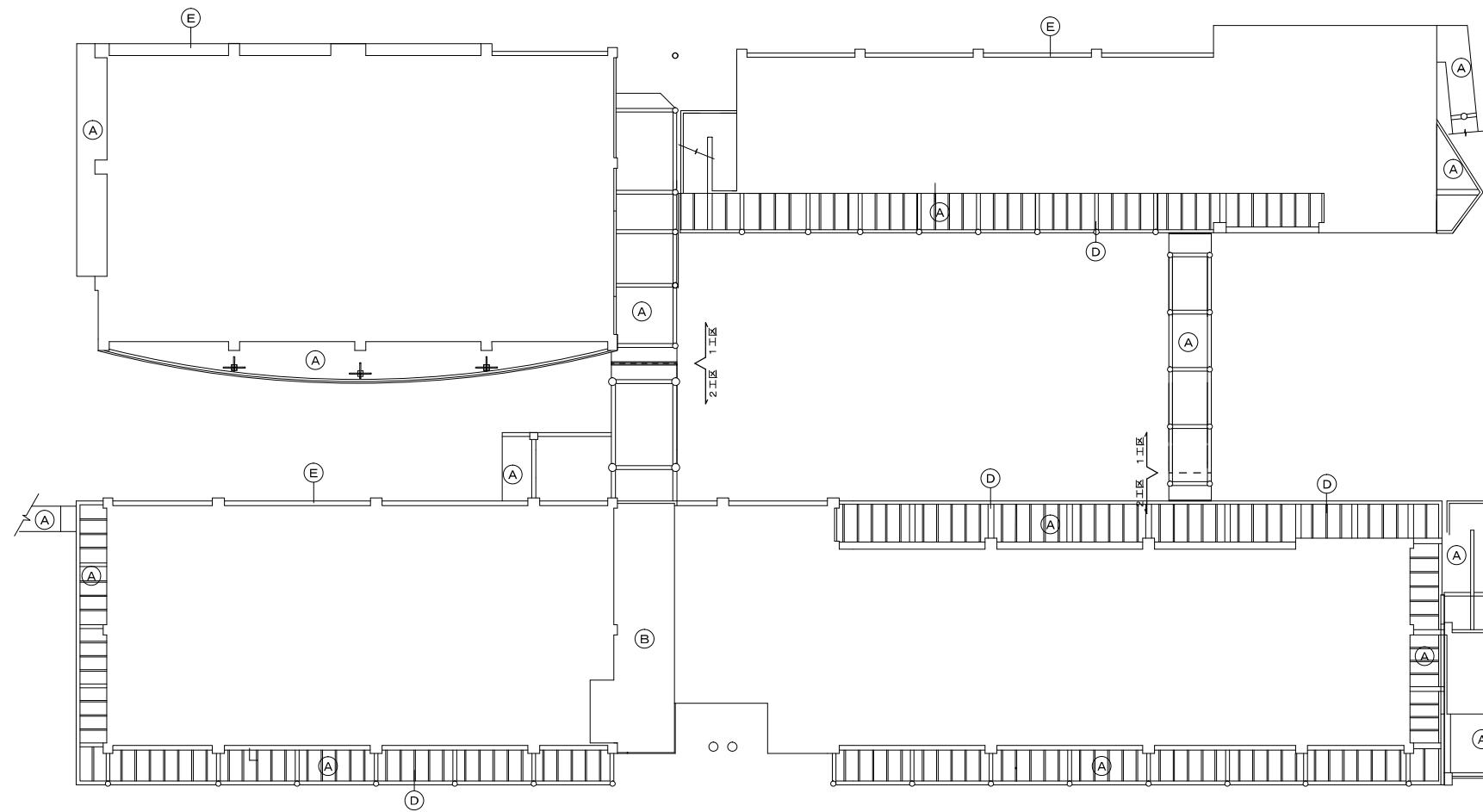
SCALE

A3, 1:400

A1, 1:200

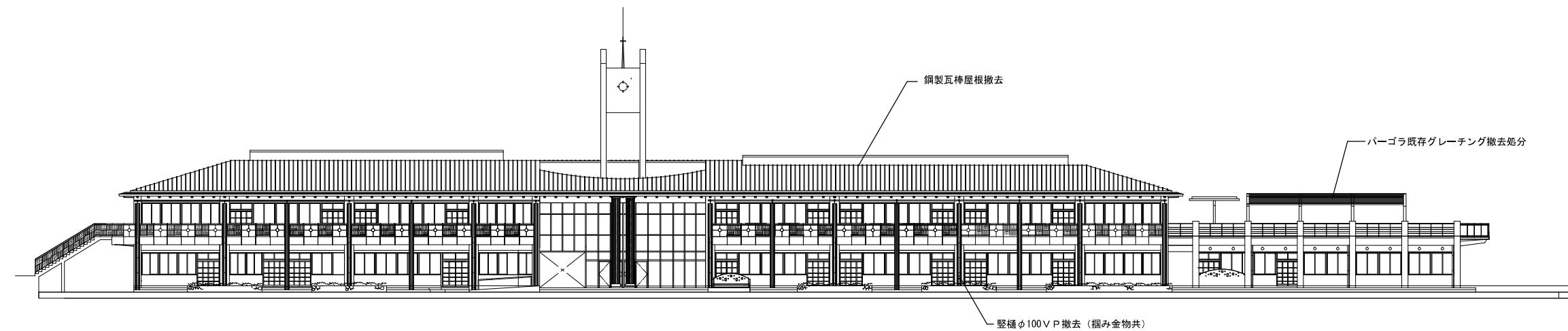


改修後 2階天井伏図 A3, 1:400
A1, 1:200

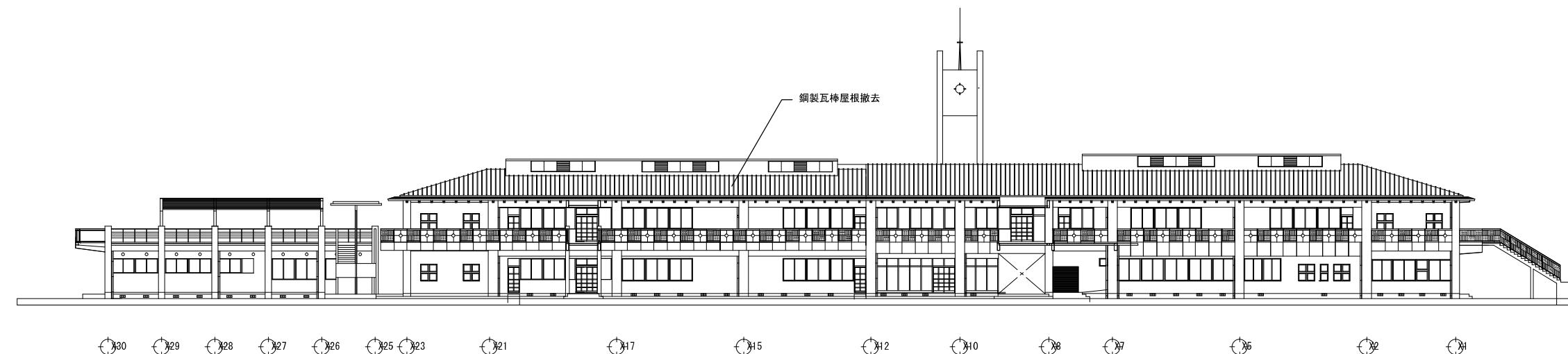


改修後 1階天井伏図 A3, 1:400
A1, 1:200

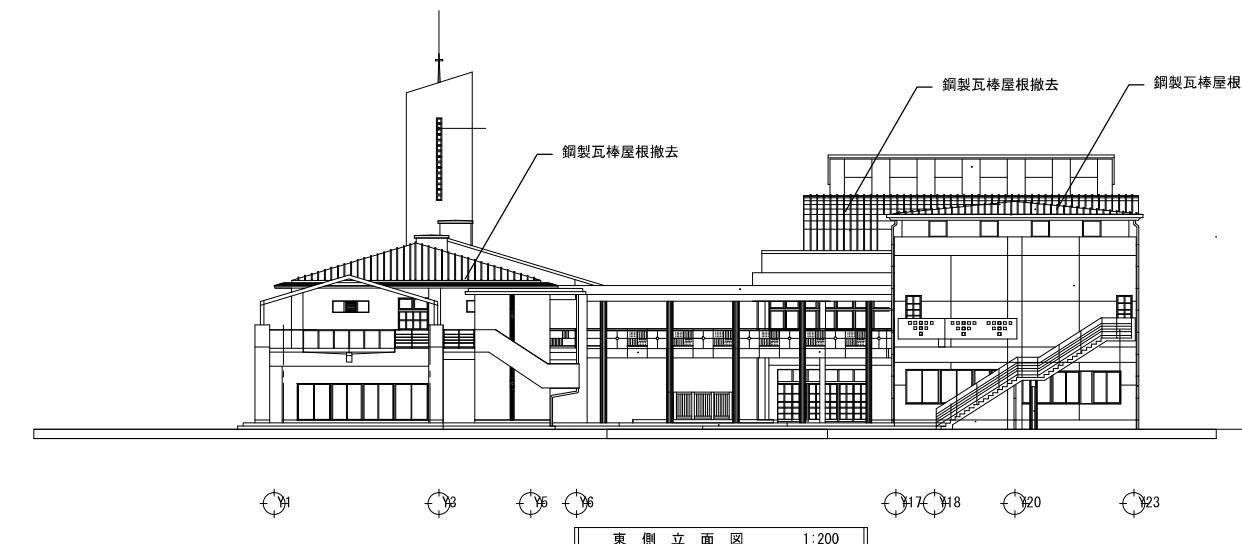
	仕上表
(A)	高压水洗浄外壁改修の上外装漆塗材E
(B)	厚6ノンアス珪酸カルシウム板目透シ貼ノ上E P-G塗
(C)	高压水洗浄外壁改修の上モルタル補修
(D)	高压水洗浄外壁改修の上E P-G塗
(E)	高压水洗浄外壁改修の上防水型複層塗材E



南側立面図 1:200



北側立面図 1:200



東側立面図 1:200

特記事項



A R C H I - P L A N
一級建築士事務所 (株)アーキ・プラン
〒890-0032 鹿児島市紫原三丁目44-18
TEL (099)259-0070 FAX (099)259-0066

DIRECTOR

吉川

CHIEF

沖田

DRAWER

沖田

工事名

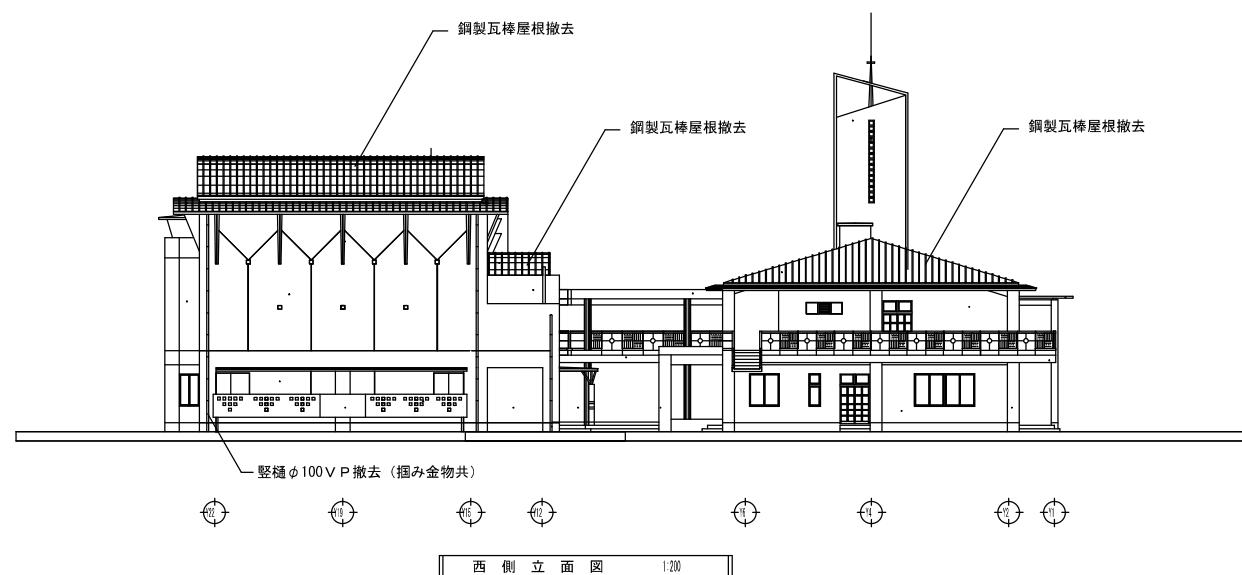
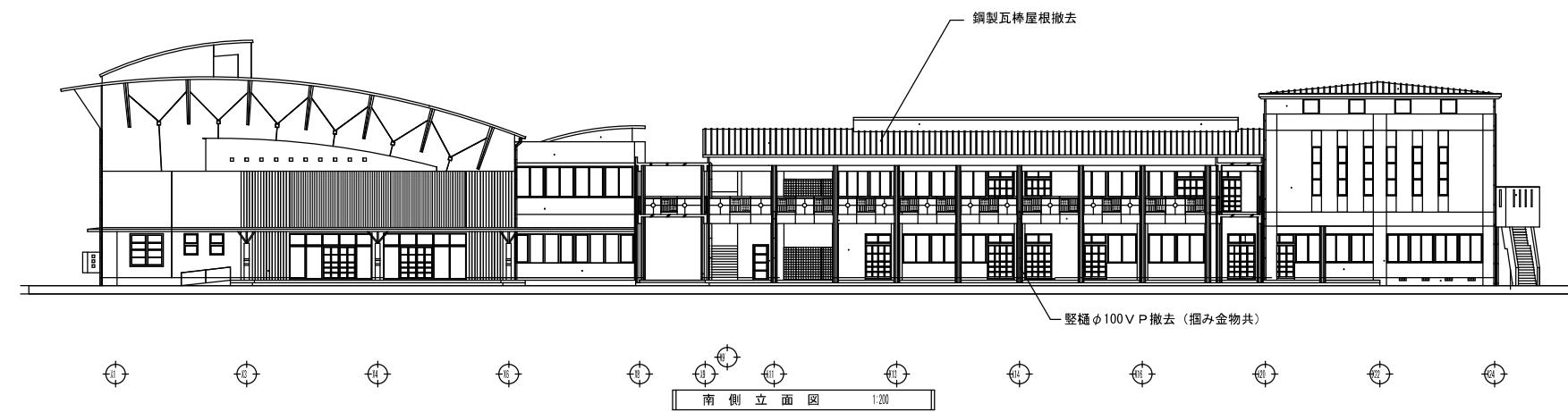
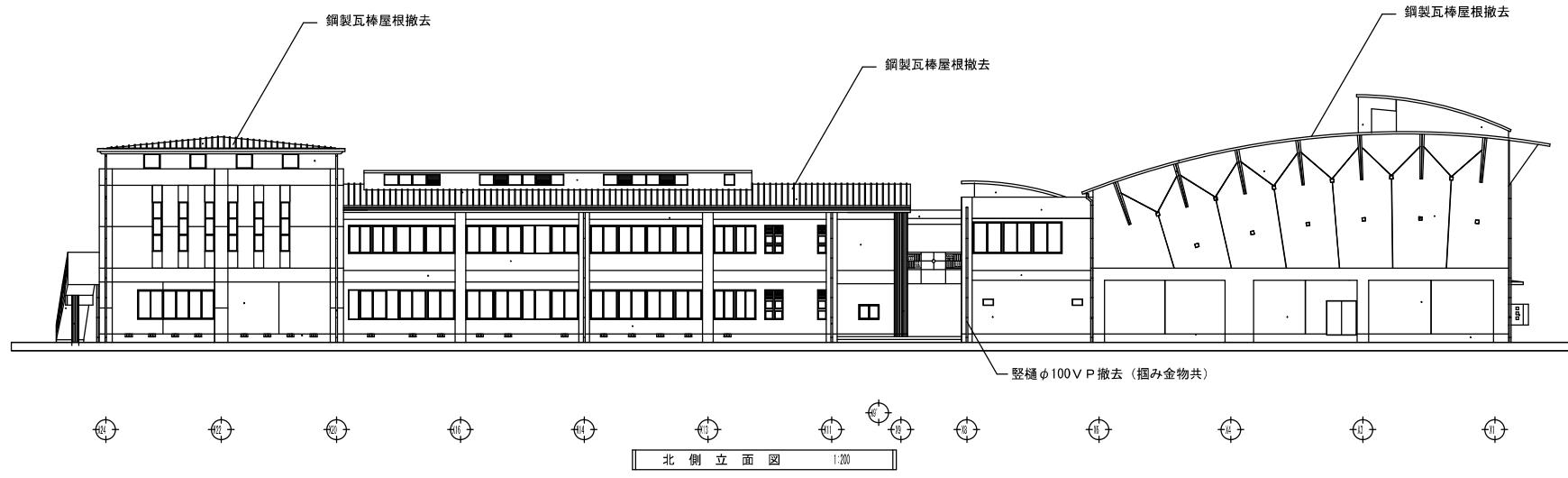
和泊中学校校舎改修工事

DATE
R5.12.25
JOB NO.
PWT-111S

SHEET NO.
A-16

既存立面図-1

SCALE
A3, 1:400
A1, 1:200



特記事項



A R C H I - P L A N
一級建築士事務所 (株)アーキ・プラン
〒890-0032 鹿児島市紫原三丁目44-18
TEL (099)259-0078 FAX (099)259-0096

DIRECTOR

吉川

CHIEF

沖田

DRAWER

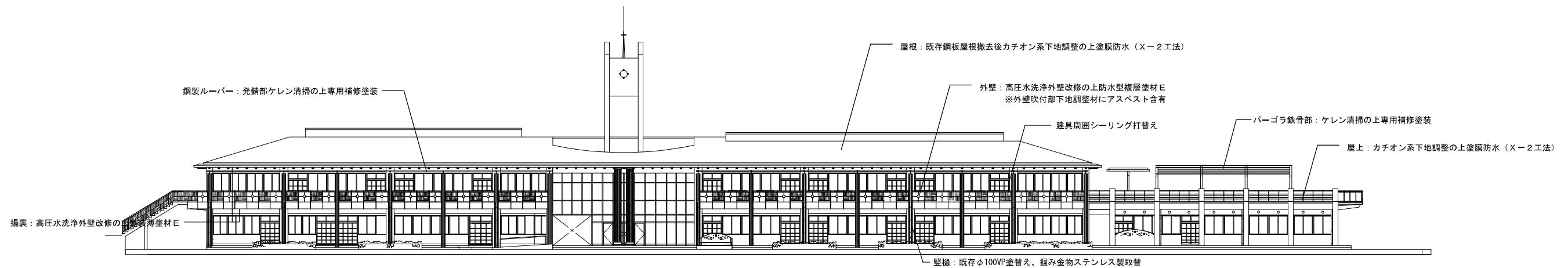
沖田

工事名

和泊中学校校舎改修工事
既存立面図-2

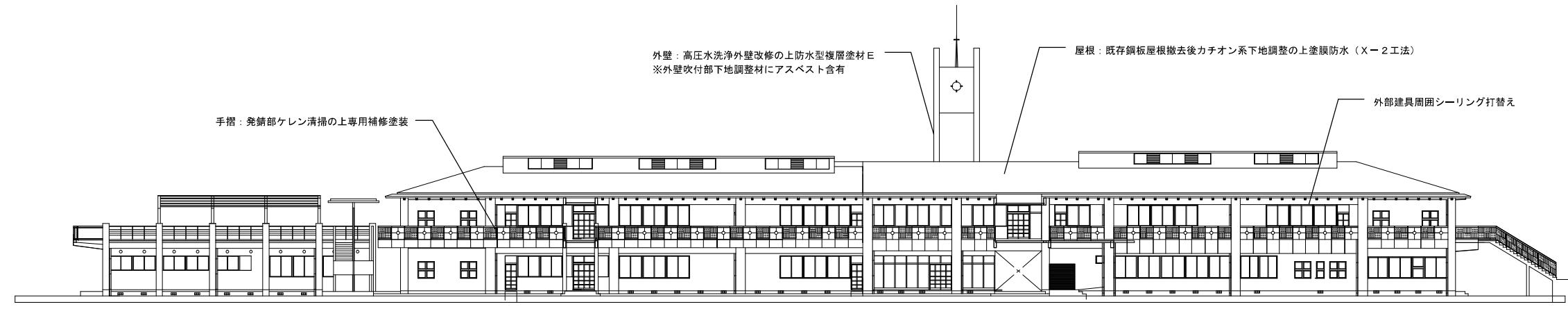
DATE
R5.12.25
JOB NO.
PWT-111S
SCALE
A3, 1:400
A1, 1:200

SHEET NO.
A-17
一級建築士 鹿児島大正会館第4458号
古川 稔



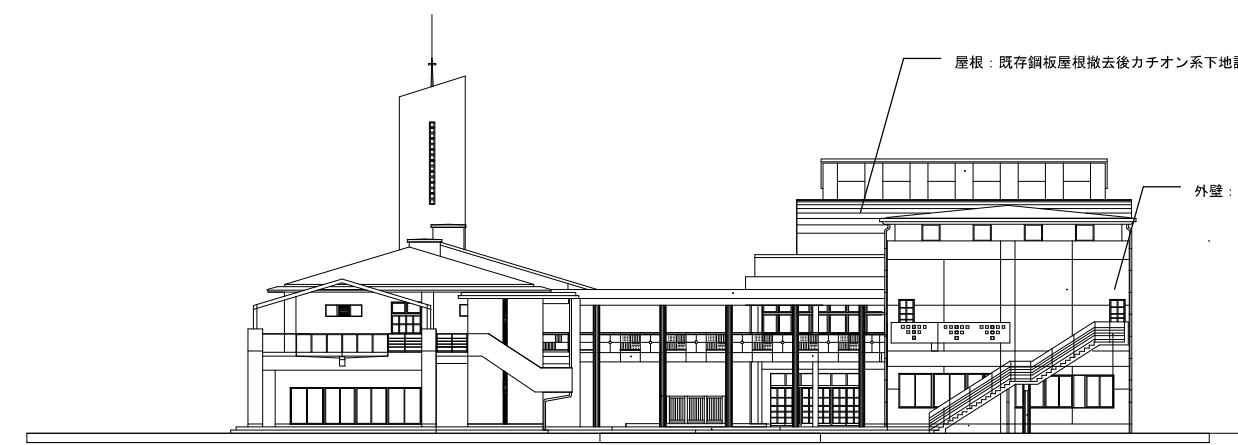
○1 ○2 ○5 ○7 ○8 ○10 ○12 ○15 ○17 ○21 ○23 ○25 ○26 ○27 ○28 ○29 ○30

南側立面図 1:200



○30 ○29 ○28 ○27 ○26 ○25 ○23 ○21 ○17 ○15 ○12 ○10 ○8 ○7 ○5 ○2 ○1

北側立面図 1:200



○1 ○2 ○5 ○6 ○17 ○18 ○20 ○23

東側立面図 1:200

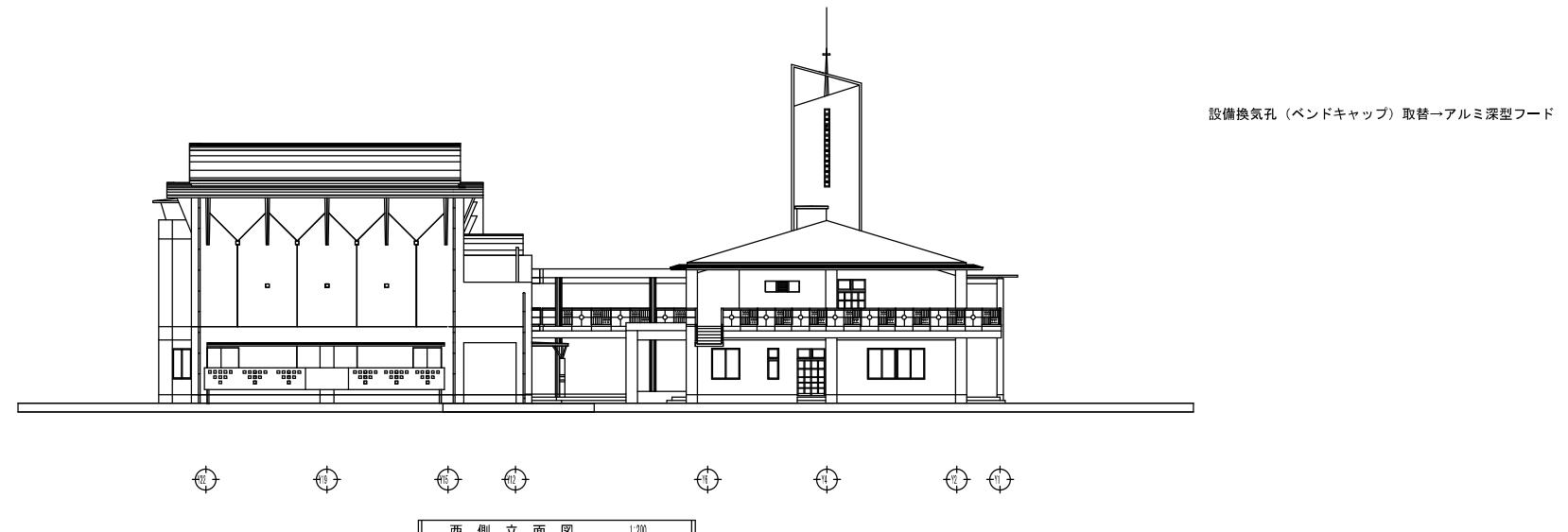
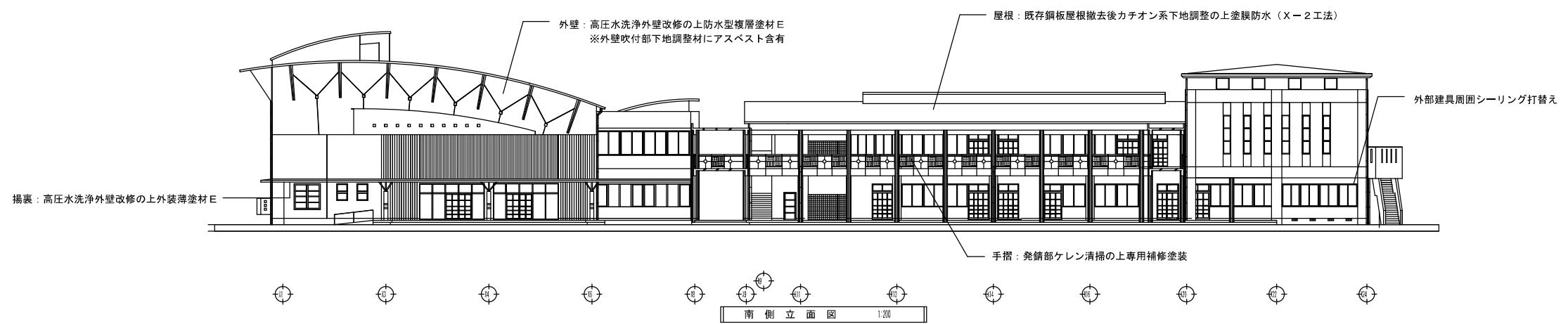
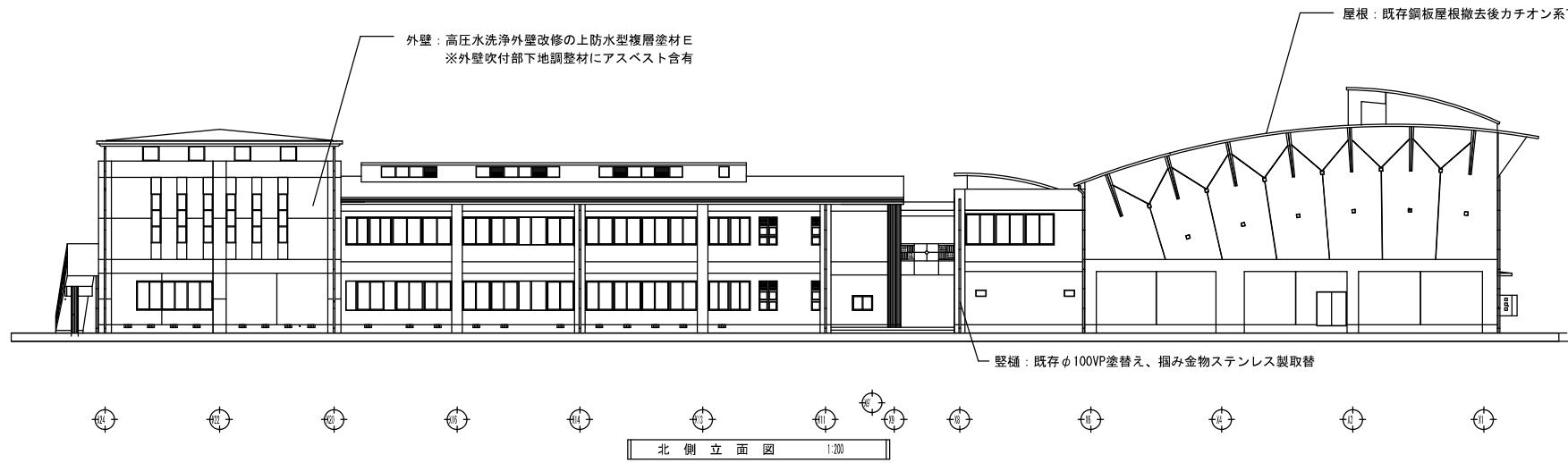
外部改修の参考数量					
改修部位	改修内容	1工区	2工区	合計	
外部手摺	発錆部ケレン清掃の上部分専用補修塗装	30.0m ²	10.0m ²	40.0m ²	
パーゴラ屋根(鉄骨部)	発錆部ケレン清掃の上部分専用補修塗装	35.0m ²	—	35.0m ²	
バルコニー屋根ルーバー	発錆部ケレン清掃の上部分専用補修塗装	50.0m ²	—	50.0m ²	
設備換気孔	既存風防ガリ撤去後△100アルミ深型フード取付	25ヶ所	25ヶ所	50ヶ所	

溶融亜鉛メッキ処理鋼材の発錆部をケレン清掃した後の塗装については、ローバル同等品とする。

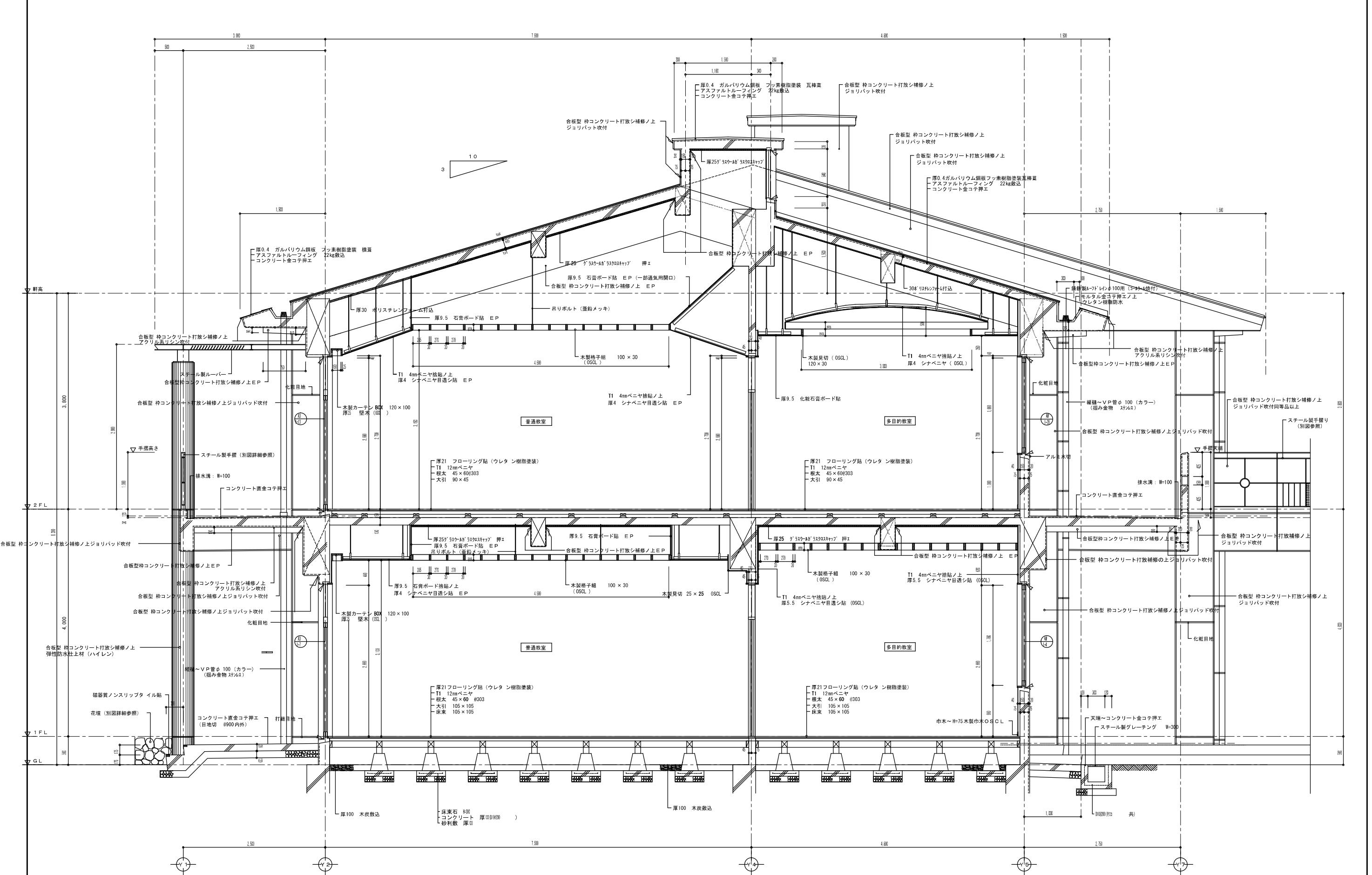
特記事項	A R C H I - P L A N 一級建築士事務所 (株)アーキ・プラン 〒890-0032 広島市中区三丁目44-18 TEL (090)259-0070 FAX (090)259-0096 ARCHI-PLAN	DIRECTOR 吉川	CHIEF 沖田	DRAWER 沖田	工事名 和泊中学校校舎改修工事	DATE R5.12.25	JOB NO. PWT-111S	SHEET NO. A-18

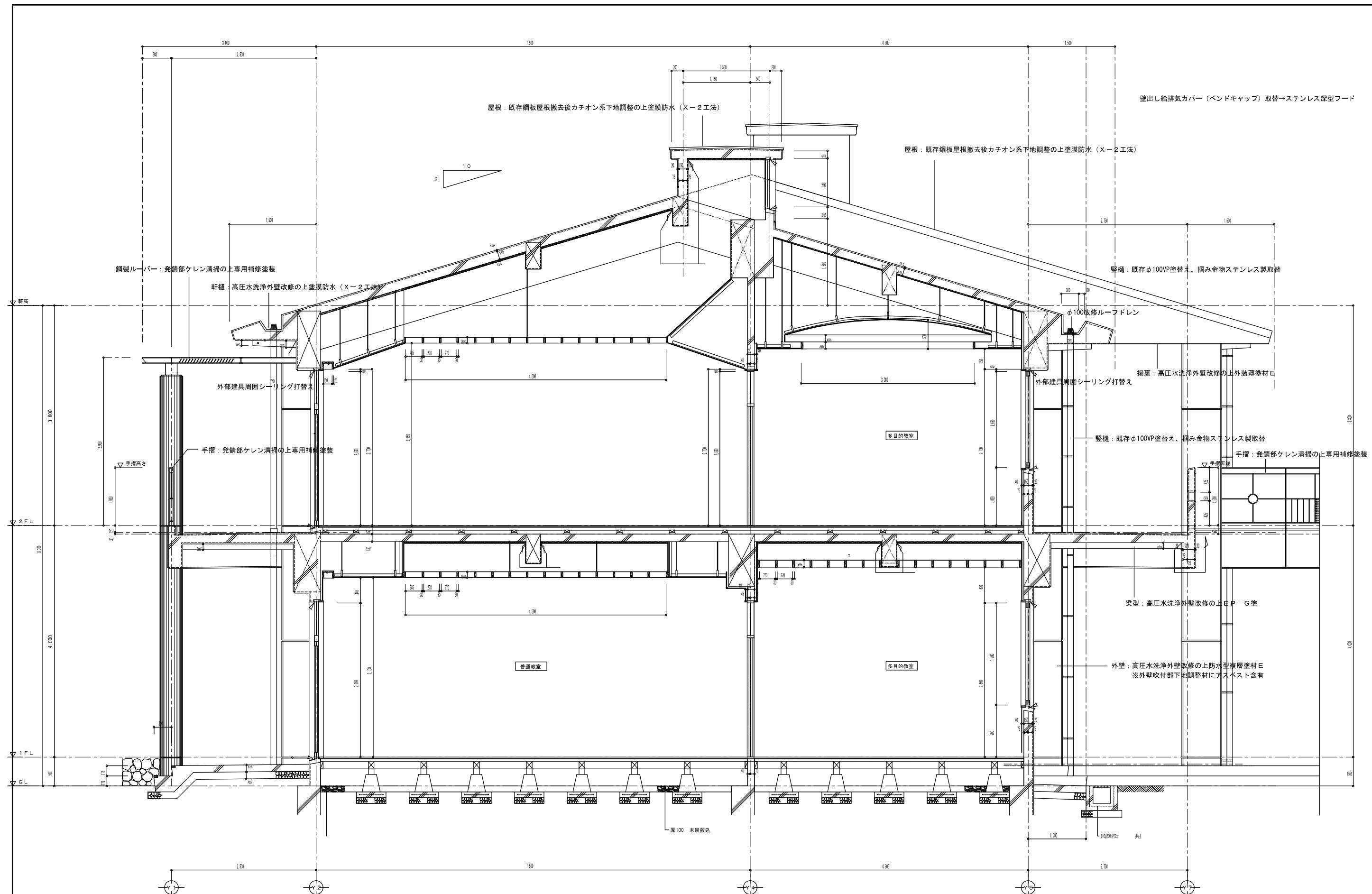
改修後立面図-1

SCALE A3, 1:400
A1, 1:200
一級建築士 沖田大介登録第64458号
古川 稔

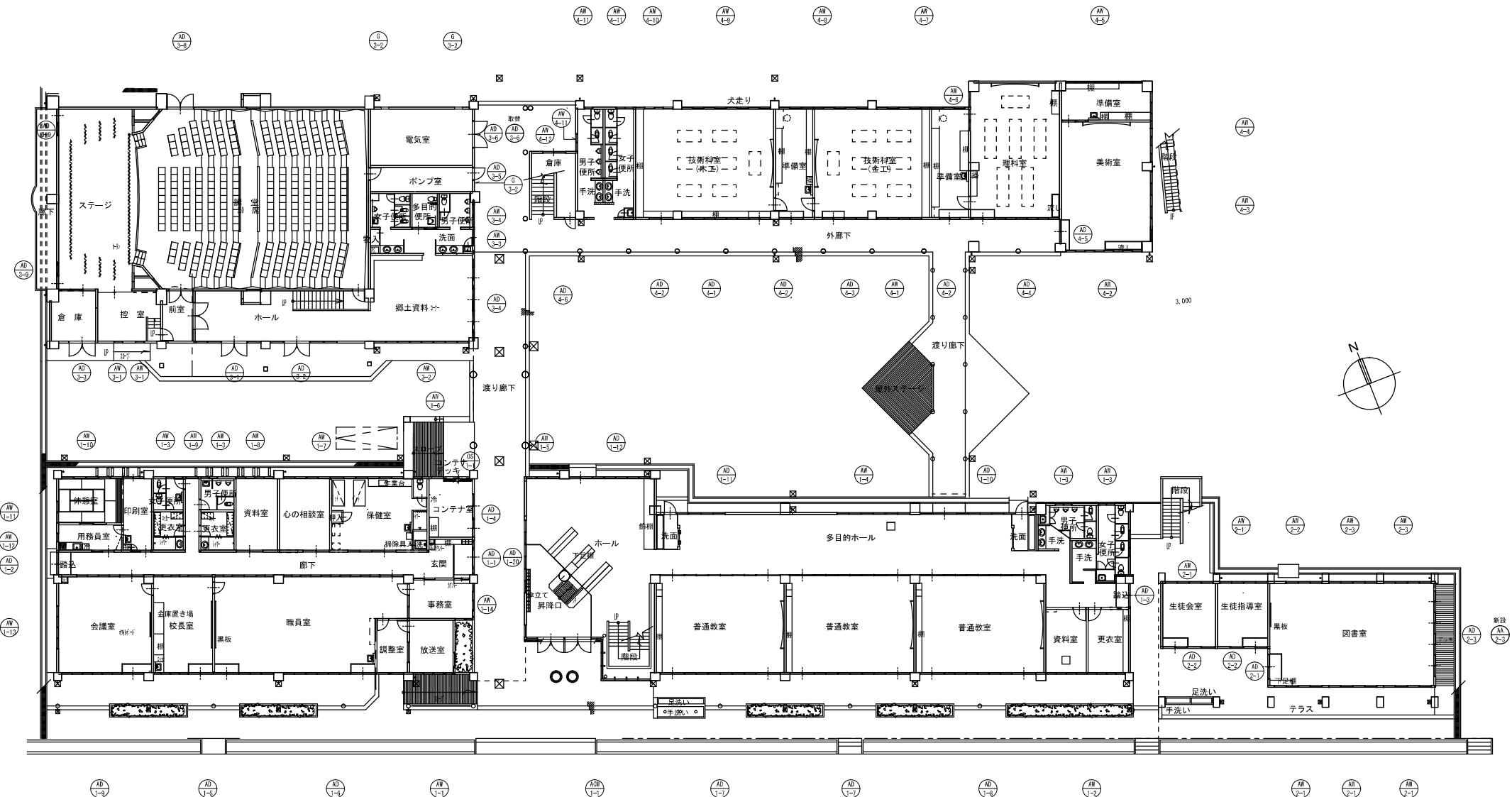


特記事項	一級建築士事務所 (株)アーキ・プラン	DIRECTOR	CHIEF	DRAWER	工事名	和泊中学校校舎改修工事	DATE R5.12.25	JOB NO. PWT-111S	SHEET NO. A-19
	〒890-0032 鹿児島市紫原三丁目44-18 TEL (099)259-0070 FAX (099)259-0066	吉川	沖田	沖田	団名	改修後立面図-2	SCALE A3, 1:400	A1, 1:200	一級建築士 鹿児島大正会館第4458号 古川 稔



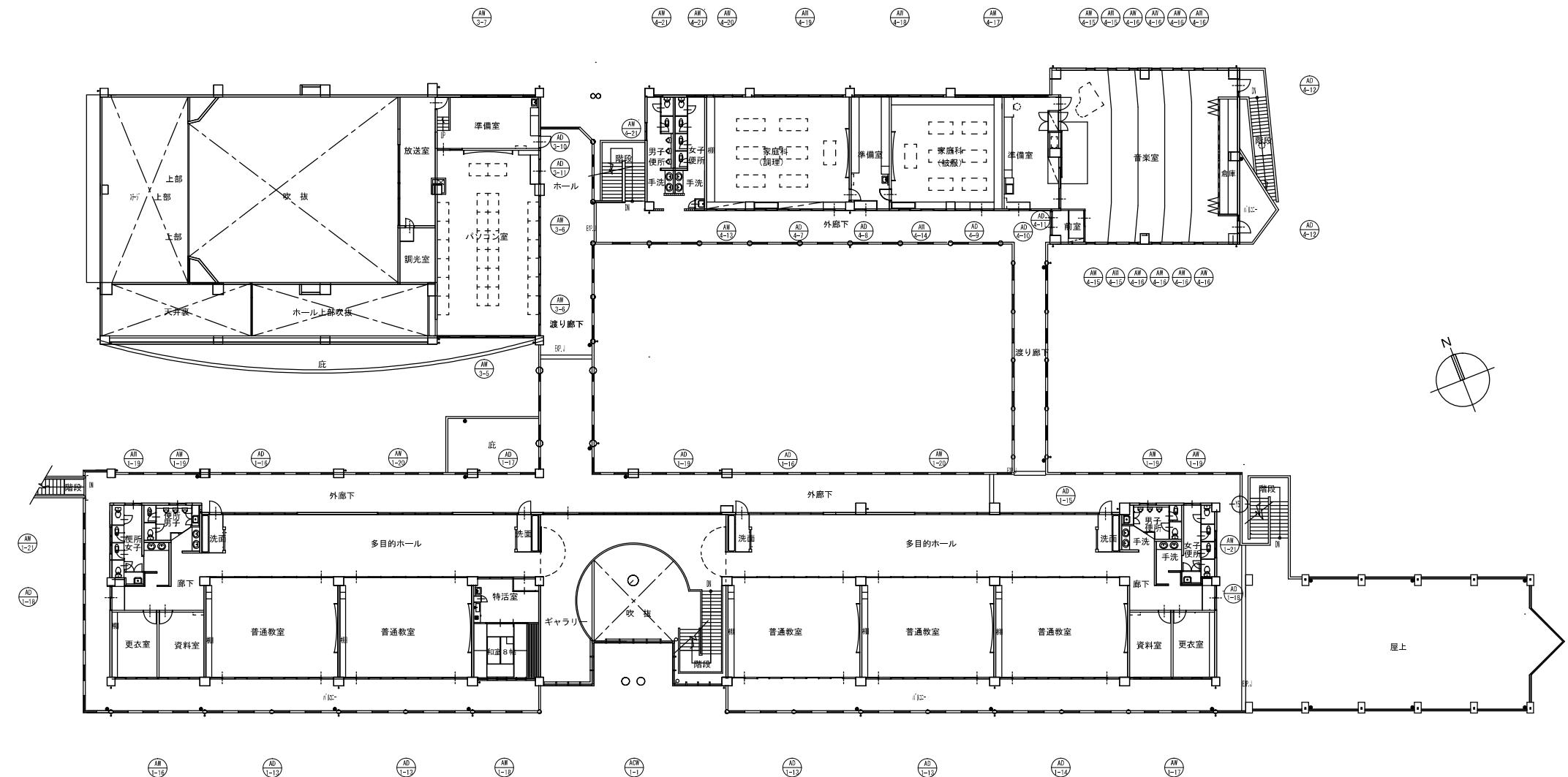


特記事項		ARCHIT-PLAN 一級建築士事務所(株)アーキ・プラン	DIRECTOR 	CHIEF 	DRAWER 	工事名	和泊中学校校舎改修工事	DATE R5.12.25	JOB NO. PWT-11S	SHEET NO. A-21
			〒890-0082 鹿児島市紫原三丁目44-18 TEL (099)259-0010 FAX (099)259-0096			図名	改修後矩図	SCALE A3:1:60 A1:1:30	一級建築士事務所登録第8445号 古川總	



1階外部建具配置図 1:200

特記事項	ARCHI-PLAN	DIRECTOR 古川	CHIEF 沖田	DRAWER 沖田	工事名 和治中学校校舎改修工事	DATE R5.12.25	JOB NO. PWT-111S	SHEET NO. A-22
	一級建築士事務所(株)アーキ・プラン 〒690-0082 鹿児島市紫原三丁目44-18 TEL (099)259-0070 FAX (099)259-0094				図名 外部建具配置図 1階	SCALE A3, 1:400 A1, 1:200	一級建築士事務所(株)アーキ・プラン 〒690-0082 鹿児島市紫原三丁目44-18 TEL (099)259-0070 FAX (099)259-0094	古川



2階外部建具配置図 5:100

特記事項



一級建築士事務所 (株)アーキ・プラン
〒890-0032 鹿児島市荒原三丁目44-18
TEL (099) 259-0076 FAX (099) 259-0096

DIRECTOR

吉川

CHIEF

沖田

DRAWER

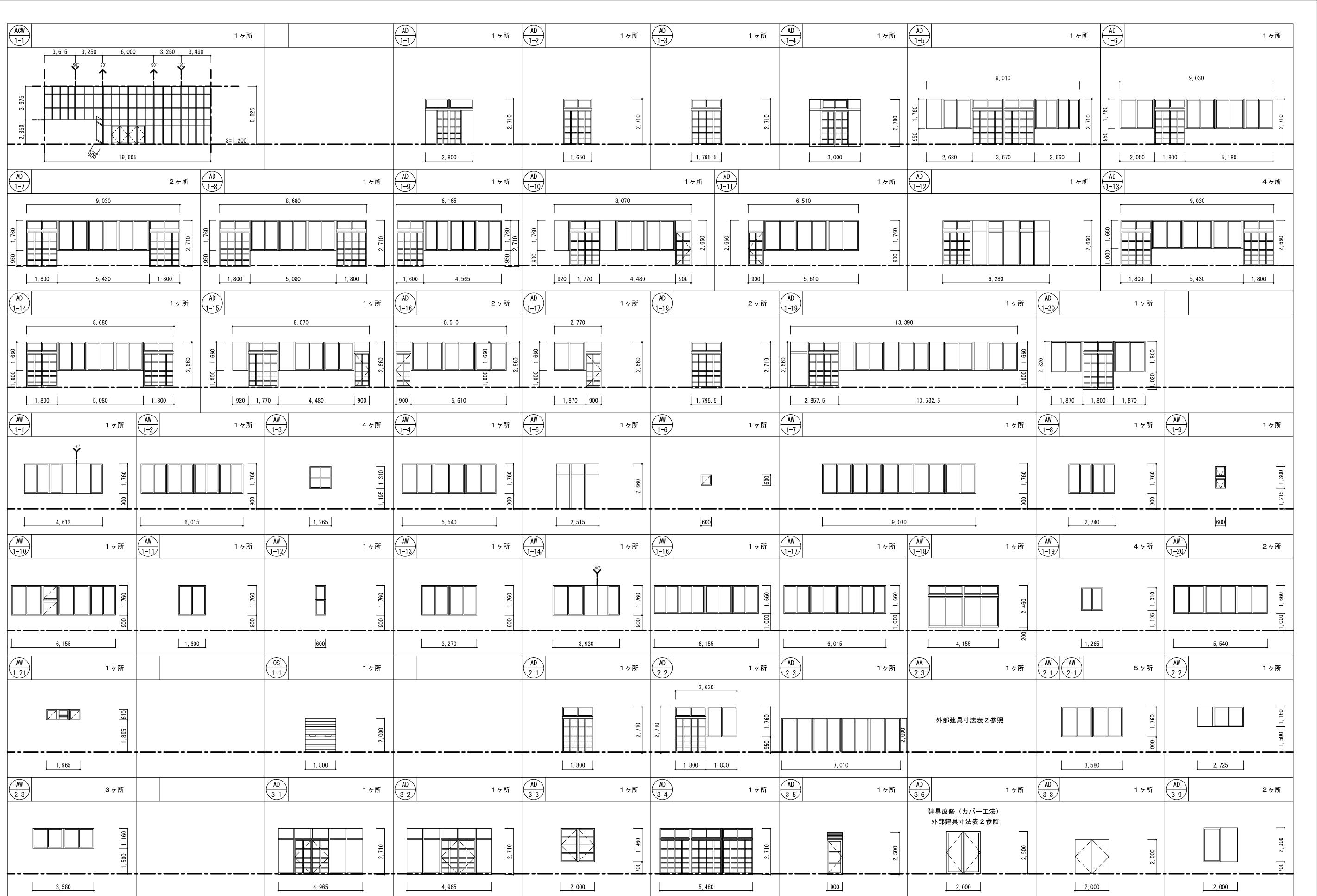
沖田

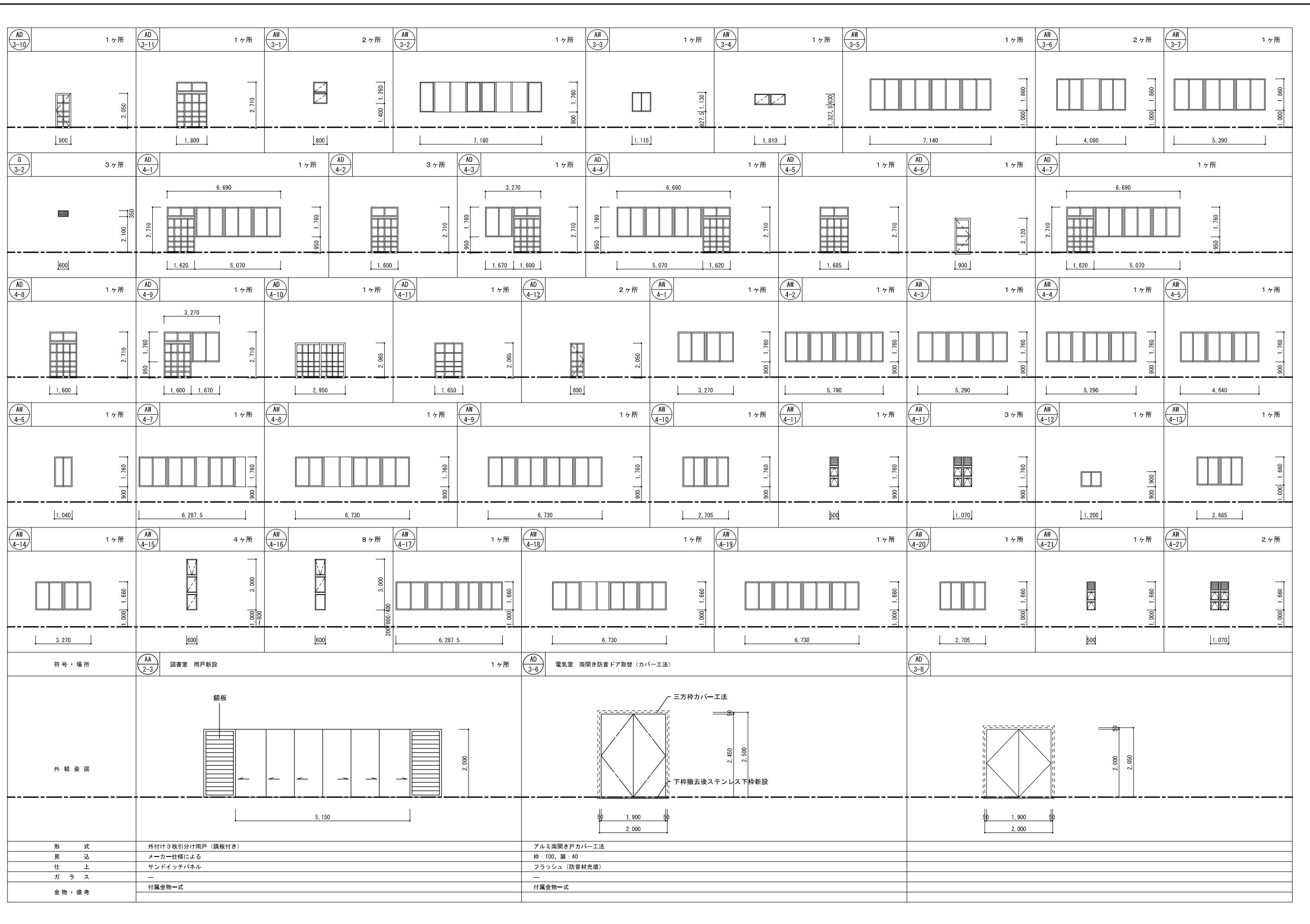
工事名

和泊中学校校舎改修工事

DATE
R5.12.25
JOB NO.
PWT-111S
SHEET NO.
A-23

SCALE
A3, 1:400
A1, 1:200
—般建築士 鹿児島大正会館第64-58号
古川 稔

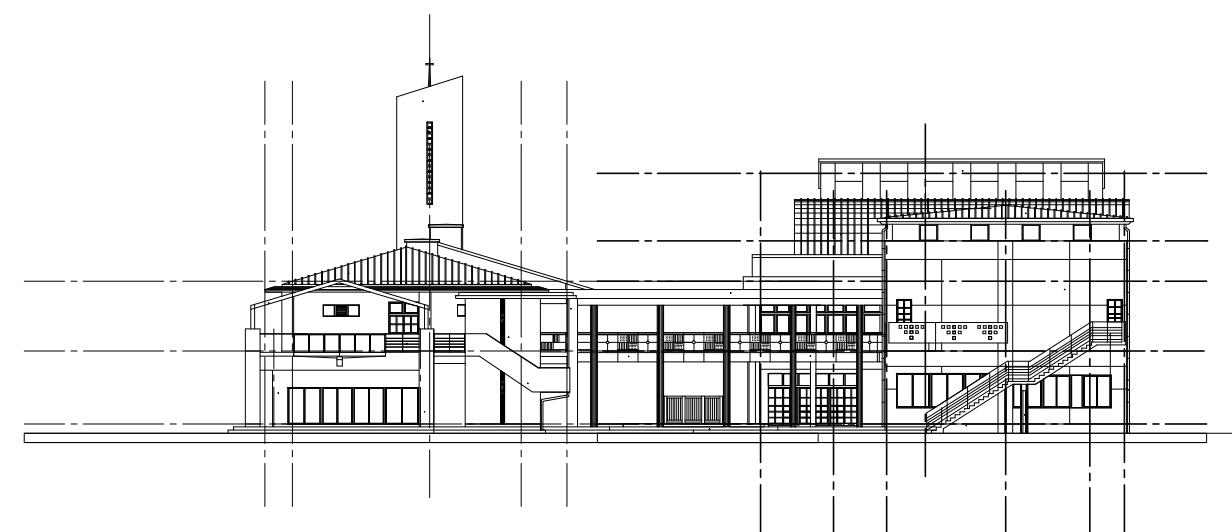
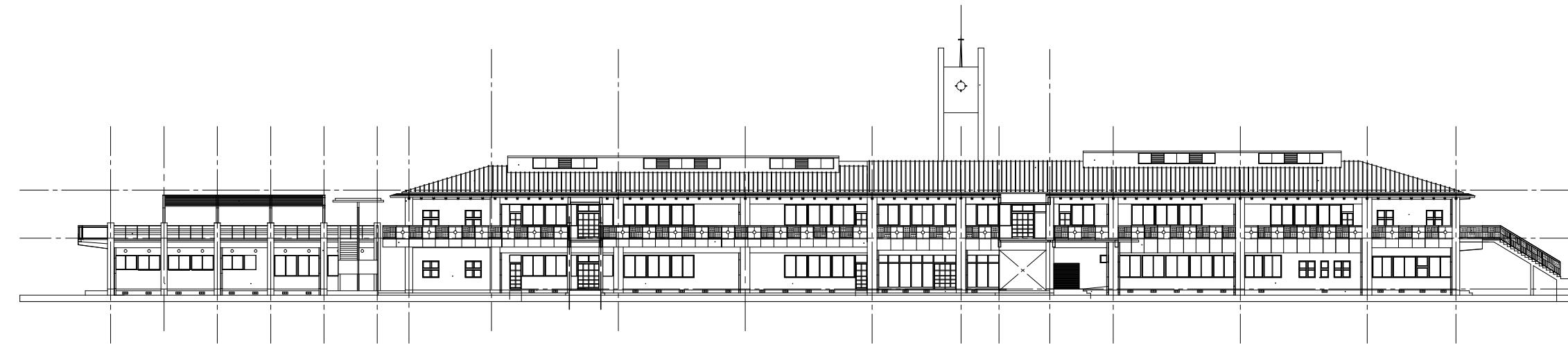
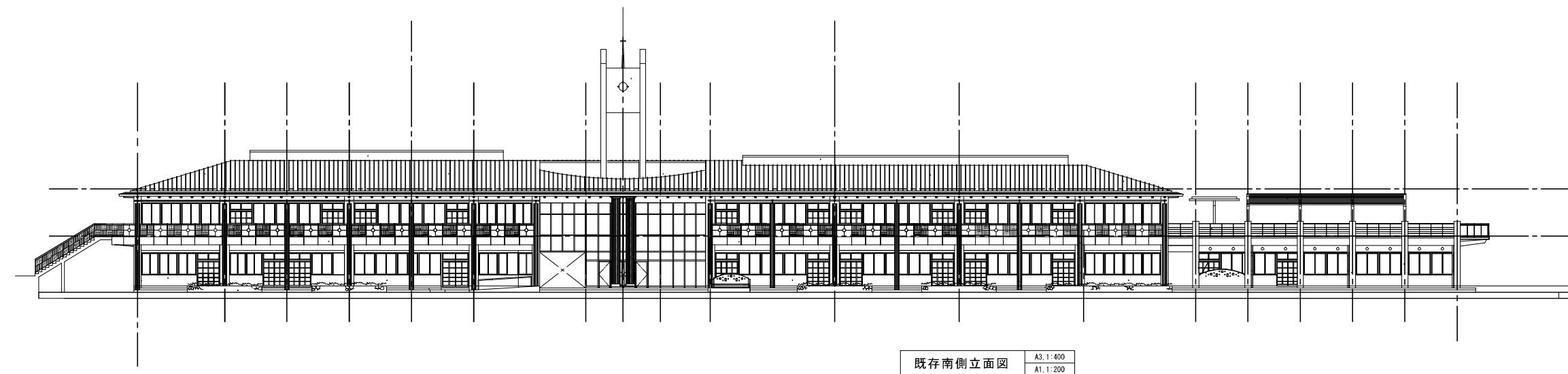




外壁（浮き部）修繕工事			
現況	修繕イメージ	工事仕様	
<p>外壁：モルタル塗の上吹付等 モルタルが浮いてひび割れている 構造体コンクリート</p>	<p>1. ピンニング孔の穿孔 2. アンカービン固定用エポキシ樹脂注入 3. ピンニング</p>	<p>工事名称：アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 一般部：16本／m² 指定部（見上げ面、庇の鼻、まぐさ隅角部）：25本／m² 狭幅部（笠木部）：5本／m 幅200mm以下</p> <p>工事内容：外壁モルタルの浮き部を、構造体コンクリートに全ネジ切りアンカービンとエポキシ樹脂で固定し、かつ残存浮き部にエポキシ樹脂をほぼ全面に注入充填する。</p> <p>※設計でこの工法を採用されても浮きの状況等によっては、ポリマーセメントモルタル充填工法又はモルタル塗替え工法を採用することもあるため、監督員と協議し改修工法を決定すること。</p>	
外壁（ひび割れ部）修繕工事	修繕イメージ	工事仕様	
<p>外壁：モルタル塗の上吹付等 外壁ひび割れ 0.2mm以上1.0mm以下</p>	<p>1. 自動式低圧エポキシ樹脂注入</p>	<p>工事名称：自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 工事内容：外壁のひび割れ部に、低・中粘度のエポキシ樹脂を注入器具により自動的に低圧で注入する。 注入間隔は200～300mmとする。</p>	
外壁及び揚裏（爆裂・欠損部）修繕工事			
現況	修繕イメージ	修繕イメージ（階段ササラ）	工事仕様
<p>外壁：コンクリート打の上吹付等 鉄筋が錆びて、コンクリートが欠損している 構造体コンクリート あげ裏：コンクリート打の上リシン吹付け</p>	<p>1. コンクリート欠損部の撤去 周囲をダイヤモンドカッターで区画しモルタル撤去 欠損部を撤去</p> <p>2. 鉄筋錆び除去+下地処理 鉄筋錆びを除去、錆止め塗装 メンテベースト</p> <p>3. ポリマーセメントモルタル充填 ポリマーセメントモルタル</p>	<p>1. 鉄筋錆び除去・防錆材塗布+下地処理 鉄筋錆びを除去、錆止め塗装 メンテベースト</p> <p>2. ステンレスアンカービン打+ステンレス線結束 ステンレス線 ステンレスアンカービン</p> <p>3. ポリマーセメント充填 ポリマーセメントモルタル</p>	<p>工事名称：ポリマーセメントモルタル充填工法 工事内容：爆裂によるコンクリートの浮き上がり部分の境界をダイヤモンドカッターで整形に区画、内部のモルタル、コンクリート部分を撤去し、鉄筋の錆をスクラバー等にて除去する。 錆止め塗装を行う。 撤去部分コンクリート面に適当な水湿しをし、メンテベーストを塗り込む。 欠け部にポリマーセメントモルタルを充填する。 但し、ポリマーセメントモルタルは1～3層に分け、各層の塗り厚さを7mm程度とする。 ※欠損部は錆落し、錆止め塗装の工程を省く。 ※階段ササラ部はステンレスアンカービンを打ち、ステンレス線で繋いで補強する。 (ビン打ち間隔、ステンレス線径等仕様は、採用工法の規定による。)</p>

※使用材料・工法については、監督員の承諾を得ること。

特記事項		AICHI-PLAN 一級建築士事務所 (株)アーキ・プラン 〒890-0082 鹿児島市紫原三丁目44-18 TEL (099)259-0070 FAX (099)259-0096	DIRECTOR CHIEF DRAWER 	工事名	和泊中学校校舎改修工事	DATE R5.12.25	JOB NO. PWT-111S	SHEET NO. A-26
				団名	外壁改修仕様書	SCALE NO SCALE	—監督士 鹿児島市立和泊中学校 04450号 吉川 植	

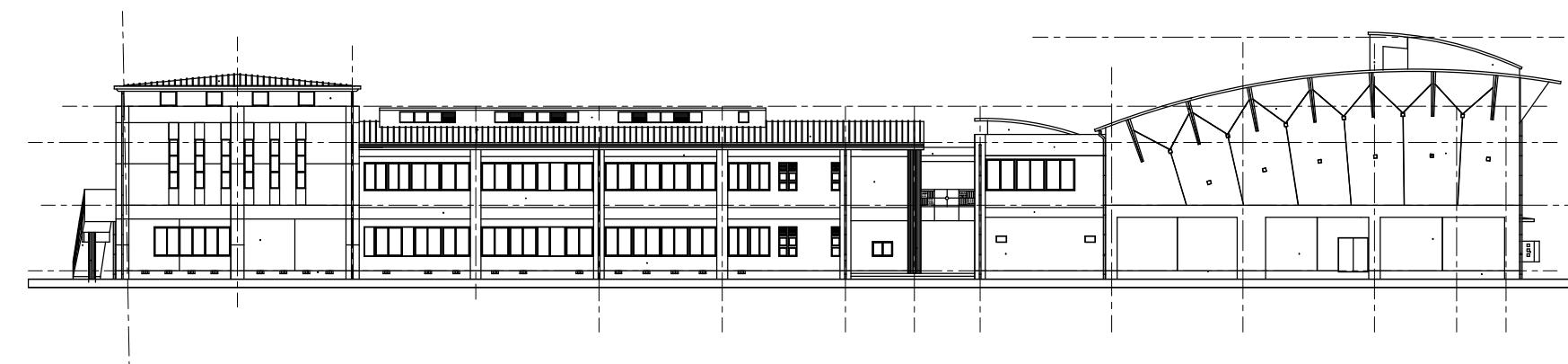


外壁改修工法別推計値

項目・工法	工区		合計
	1工区	2工区	
モルタル浮き	一般部(A16) ピン本数		
	指定部(A25) ピン本数		
	狭幅部(A5) ピン本数		
爆裂・欠損	面積	3.50 m ²	3.40 m ²
	カット長		
	見上げ面	0.60 m ²	1.20 m ²
ひび割れ	面積		
	カット長		
	見上げ面(幅0.2~1.0mm)	179.00 m	174.00 m
	見上げ面(幅0.2~1.0mm)	31.00 m	60.00 m
			353.00 m
			91.00 m

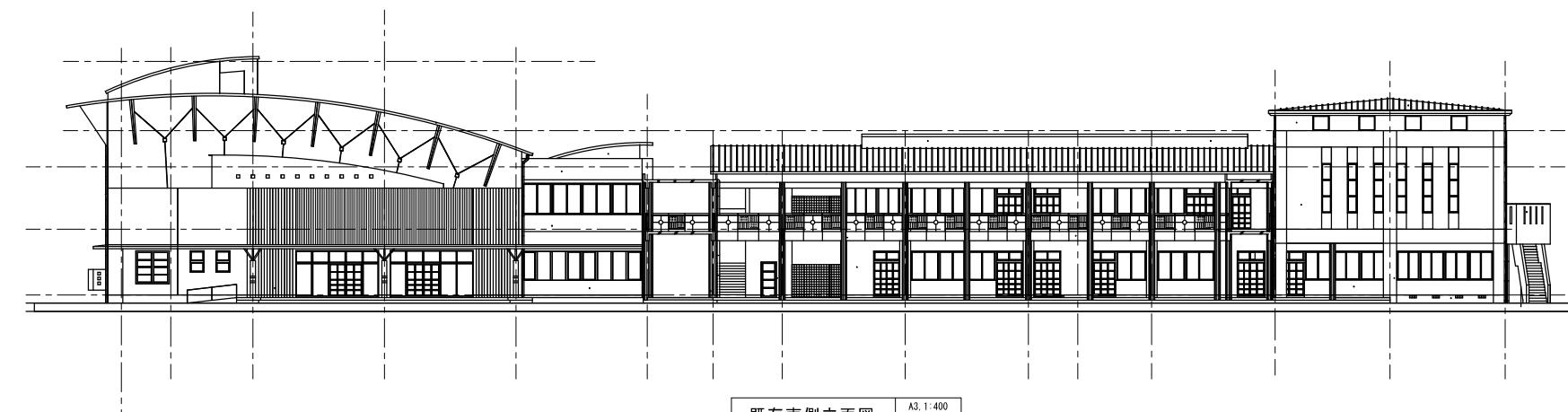
※推計値は改修面積より算出した目安の数値である。外壁改修着工前に詳細な調査を行い、結果を監督員に報告すること。

※調査報告書には各調査箇所に位置・種別・番号を記載し提出すること。



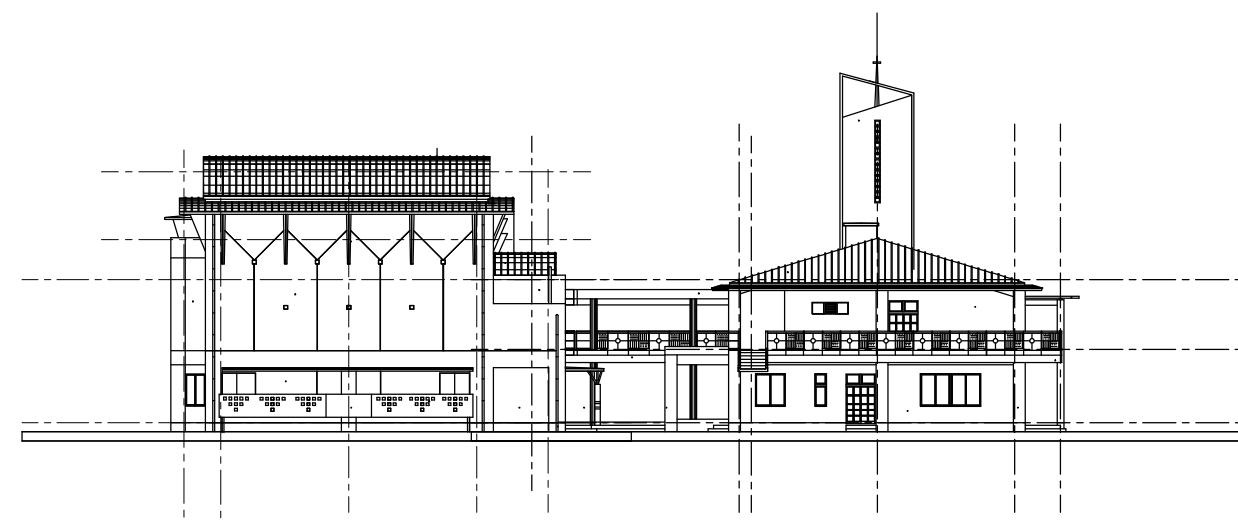
既存北側立面図

A3.1:400
A1.1:200



既存南側立面図

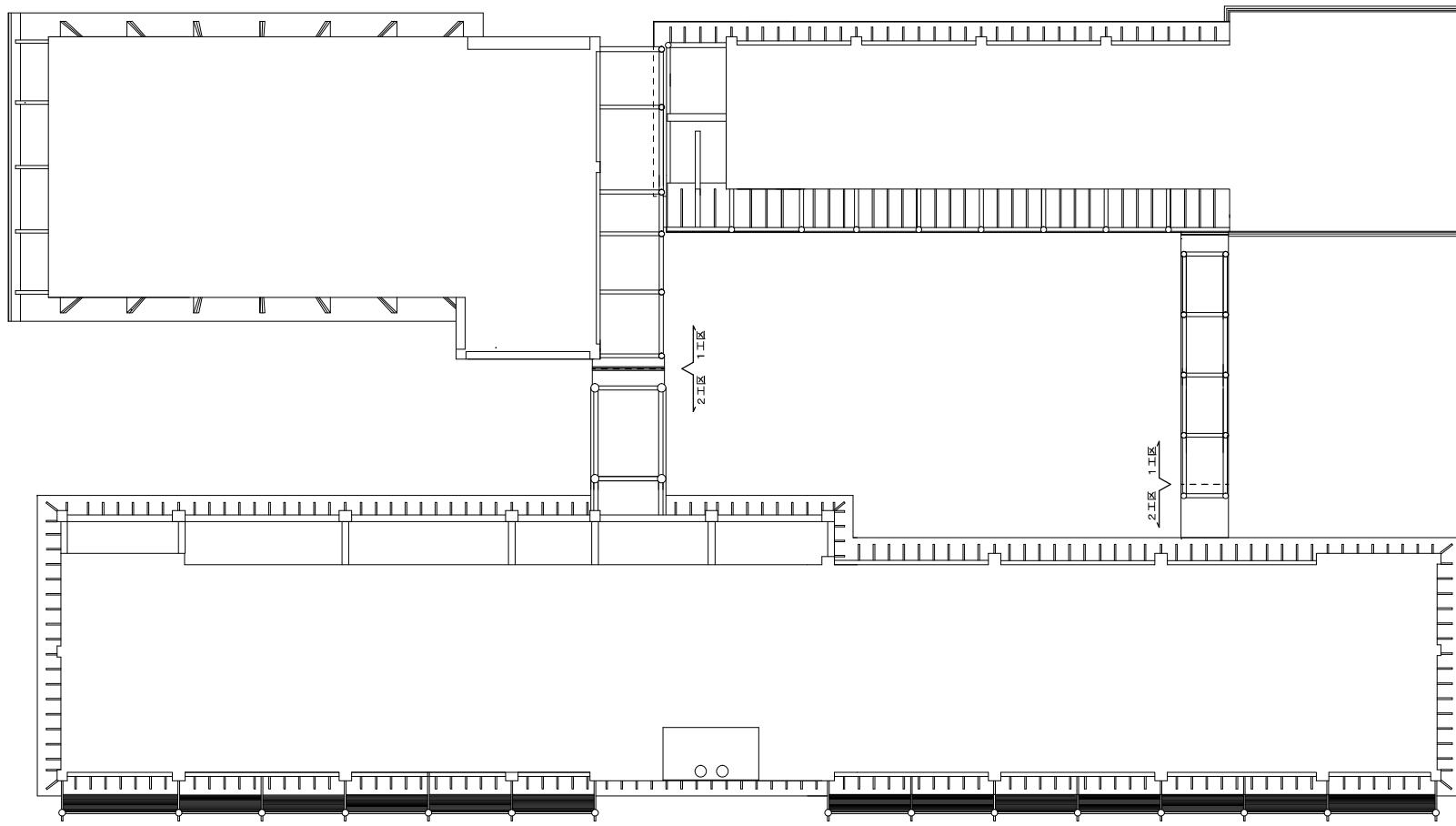
A3.1:400
A1.1:200



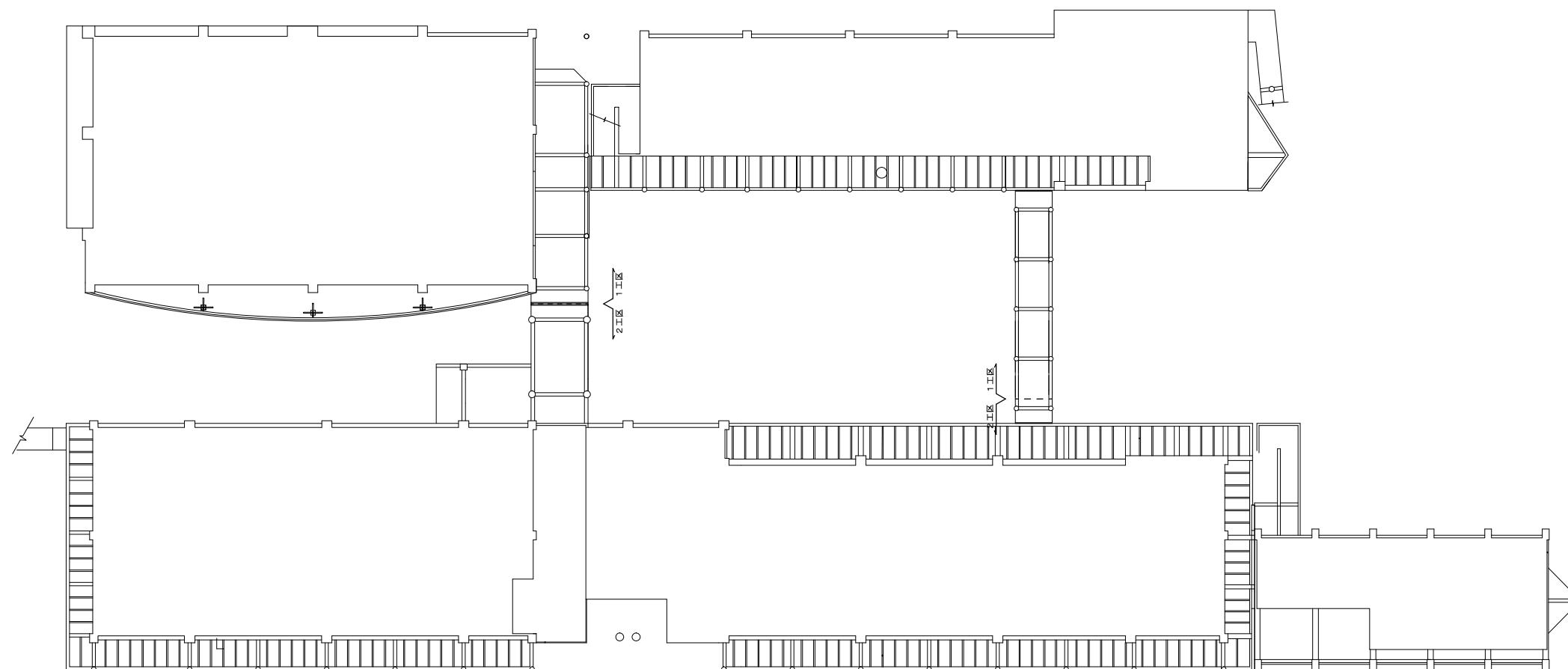
既存西側立面図

A3.1:400
A1.1:200

特記事項	一級建築士事務所 (株)アーキ・プラン	DIRECTOR	CHIEF	DRAWER	工事名	和泊中学校校舎改修工事	DATE R5.12.25	JOB NO. PWT-111S	SHEET NO. A-28
	〒890-0032 鹿児島市紫原三丁目44-18 TEL (099)259-0070 FAX (099)259-0066	吉川	沖田	沖田	図名	既存立面図-2	SCALE A3.1:400 A1.1:200		一級建築士 鹿児島大正会館第4-458号 古川 稔



2階揚裏調査図
A3, 1:400
A1, 1:200



1階揚裏調査図
A3, 1:400
A1, 1:200

特記事項		ARCHI-PLAN	一級建築士事務所 (株)アーキ・プラン 〒890-0032 鹿児島市紫原三丁目44-18 TEL (099)259-0070 FAX (099)259-0096	DIRECTOR 吉川	CHIEF 沖田	DRAWER 沖田	工事名 和泊中学校校舎改修工事	DATE R5.12.25 JOB NO. PWT-111S SHEET NO. A-29
							図名 外壁調査図(揚裏図)	SCALE A3, 1:400 A1, 1:200